

平成 29 年度 部の運営方針

重点施策・事業の進捗状況

平成 29 年 11 月

総合政策部 企画課

「平成 29 年度 部の運営方針“重点施策・事業”の進捗状況」について

枚方市では、選択と集中を実現する行政経営システムを構築しています。このシステムは、市のまちづくりの方針決定を行う、「施策における選択と集中」とそれを受けて各部が取り組む重点施策や課題を示した「各部における選択と集中」から成り立っています。

本市では、その具体的な取り組みとして、各部が年度単位で重点的に取り組む事業等を示した「部の運営方針」を作成・公表しています。

この度の「平成 29 年度 部の運営方針“重点施策・事業”の進捗状況」は、各部の「部の運営方針」内に示している“重点施策・事業”の進捗状況を年度の中間に公表することで、多様化・複雑化する行政や地域の課題について、早期に共通の認識を持ち解決の促進を図るために実施するものです。なお、「部の運営方針“重点施策・事業”の進捗状況」の見方は次のとおりです。

部の運営方針“重点施策・事業”の進捗状況の見方

平成 29 年度	〇〇部 重点施策・事業の進捗状況
----------	------------------

(1) 〇〇〇について

重点施策・事業における目標	平成 29 年度 各部の運営方針の“重点施策・事業”の「重点施策・事業における目標」・「平成 29 年度の取り組み」・「平成 29 年度当初予算」の内容を転記しています。
平成 29 年度の取り組み	

平成 29 年度当初予算：〇〇千円

9 月末の進捗状況 【 】	上記の重点施策・事業の「平成 29 年度の取り組み」に対して、9 月末現在の進捗状況を記載しています。
------------------	---

【 】内に「平成 29 年度の取り組み」に対して以下の内容を記載しています。
<◎：完了、○：当初の予定通り進行中、△：進行中であるが遅れあり>

目 次

平成 29 年度 部の運営方針 “重点施策・事業” 一覧.....	P. 1
市長公室.....	P. 5
総合政策部.....	P. 7
市駅周辺等活性化推進部.....	P. 11
市民安全部.....	P. 13
総務部.....	P. 17
財務部.....	P. 21
産業文化部.....	P. 25
健康部.....	P. 29
健康部 保健所.....	P. 33
長寿社会部.....	P. 37
福祉部.....	P. 39
子ども青少年部.....	P. 43
環境部.....	P. 47
都市整備部.....	P. 51
土木部.....	P. 55
会計管理者.....	P. 59
上下水道経営部.....	P. 61
上下水道事業部.....	P. 63
市立ひらかた病院.....	P. 67
管理部.....	P. 69
学校教育部.....	P. 73
社会教育部.....	P. 79
選挙管理委員会事務局.....	P. 83
監査委員事務局.....	P. 85
農業委員会事務局.....	P. 87
市議会事務局.....	P. 89

※市議会事務局についても、あわせて掲載しております。

平成29年度 部の運営方針”重点施策・事業”一覧

部名	重点施策・事業	ページ
市長公室	人口誘導・定住促進につながる情報発信	5
	全庁的な情報発信力の強化	5
	平和施策や人権施策の推進	6
	DV予防や男女共同参画の取り組みの推進	6
総合政策部	総合計画・総合戦略の進行管理について	7
	シティプロモーションの推進及びまちの魅力向上に係るマーケティング	7
	市制施行70周年記念事業の実施	8
	ふるさと寄附金の推進	8
	外郭団体等の経営状況等に対する外部評価員による点検・評価の実施	9
	事務事業・補助金の見直し	9
市駅周辺等活性化推進部	枚方市駅周辺再整備の推進	11
	香里ヶ丘地域のまちづくり	12
市民安全部	オリジナルの婚姻届書や出生届書の作成	13
	協働によるまちづくりの推進	13
	校区コミュニティ協議会に対する補助制度の再構築	14
	防犯カメラの増設	14
	防災啓発の充実	15
	消費者被害対策の推進	15
総務部	職員のやる気をさらに高めるメリハリのある人事・給与制度の構築	17
	職員の多様な価値観や個性を尊重する市役所づくり	17
	職務の執行に対する意見、要望等の記録の公表	18
	情報公開制度及び個人情報保護制度の見直し	18
	市制施行70周年記念式典の開催	18
	電子自治体推進事業	19
	公衆無線LAN環境整備事業	19
財務部	公共施設マネジメントの推進	21
	新地方公会計制度の導入	21
	未収金対策の強化	22
	ふるさと寄附金ワンストップ特例の対応	22
	固定資産税の評価替え	23
産業文化部	観光施策の戦略的推進	25
	新たな名物の開発及び発信	25
	市制施行70周年記念事業の実施	25
	生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度の導入	26
	枚方市文化芸術振興計画の推進	26
	農業被害対策事業	27

部名	重点施策・事業	ページ
健康部	「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業の推進	29
	救急医療体制の整備	29
	災害時の医療救護体制の再構築	30
	第3次枚方市食育推進計画の策定	30
	国民健康保険特別会計の財政健全化	31
	特定健康診査・特定保健指導を中核とする保健事業の推進	31
	福祉医療費助成事業の運営	32
健康部 保健所	保健医療・公衆衛生分野における災害対策	33
	薬物乱用防止啓発の推進	33
	ヘルシーメニューの開発支援	34
	食中毒など健康危機事象発生の未然防止	34
	こころの健康づくりの推進	34
	難病対策の推進	35
	妊産婦への支援の拡充について	35
	市民の健康を支える地域拠点の整備	36
	各種がん検診の推進	36
	長寿社会部	介護予防・日常生活支援総合事業の実施
認知症施策の推進		37
在宅医療・介護連携の推進		37
福祉部	地域福祉の推進	39
	臨時福祉給付金（経済対策分）の円滑な支給	39
	保護受給者の自立促進	39
	日中一時支援事業の拡充	40
	障害者グループホームの安全対策（スプリンクラー等の設置助成）	40
	枚方市障害福祉計画（第5期）・枚方市障害児福祉計画（第1期）の策定	41
	精神障害者保健福祉手帳交付事務の権限移譲	41
	社会福祉法等の改正への的確な対応	42
子ども青少年部	子ども・若者の課題対策の充実	43
	待機児童対策の推進	44
	保育サービスの充実	44
	新児童発達支援センターの整備	45
	子ども総合相談センター「となとな」における相談支援の充実	45
環境部	可燃ごみ広域処理施設の整備	47
	地球温暖化対策の推進とごみ減量の取り組み	47
	空き家・空き地対策の推進	48
	淀川衛生工場し尿処理施設の整備	48
	市民との協働による環境施策の推進	48

部名	重点施策・事業	ページ
都市整備部	人が集まるまちづくりの取り組み	51
	(仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備や公共建築物の整備・保全	51
	京阪本線連続立体交差事業と新たなまちづくり	52
	木造住宅の耐震化の促進	53
土木部	枚方市総合交通計画の策定	55
	都市計画道路整備事業	55
	市内主要駅周辺の交通環境の改善	56
	安全・安心な交通環境の創出	57
	道路・公園等の効率的・効果的な維持管理	57
	公園の整備と緑地保全や緑化推進によるみどり豊かな都市環境の創造	58
会計管理者	公金の適正な管理	59
	公金の安全で効率的な資金運用	59
上下水道経営部	水道料金制度のあり方を検討	61
	水道・下水道事業の経営戦略策定	61
	お客さまサービスの向上	62
	水洗化の促進	62
上下水道事業部	水道管路更新・耐震化事業	63
	中宮浄水場更新事業	63
	応急給水拠点の整備	63
	下水道施設維持管理事業	64
	公共下水道汚水整備事業（住居系地域）	64
	公共下水道汚水整備事業（工場等事業所系地域）	64
	下水道施設の長寿命化対策	65
	公共下水道雨水整備事業	65
	下水道浸水被害軽減総合事業	66
市立ひらかた病院	市立ひらかた病院改革プランに基づく病院経営の健全化	67
管理部	学校園の安全対策	69
	小中学校教育用ICT機器等の整備	69
	学校規模等の適正化の推進	70
	枚方市学校施設整備計画における長寿命化改修事業	70
	少人数教室等整備事業	71
	学校トイレ改善事業	71
	学校給食の充実	72

部名	重点施策・事業	ページ
学校教育部	学力の向上（小中一貫教育推進事業）	73
	指導体制の充実（小中一貫教育推進事業）	74
	自学自習力の向上（放課後自習教室事業）	75
	英語教育の推進	75
	生徒指導の充実	76
	支援教育の充実	76
	教職員研修の充実	77
社会教育部	社会教育の推進	79
	児童の放課後施策の推進	79
	歴史文化遺産の保存・活用（特別史跡百済寺跡再整備事業）	80
	スポーツ施策の推進	80
	総合スポーツセンター駐車場の拡張整備	81
	香里ヶ丘図書館の建替え事業	81
	学校図書館支援事業	82
	生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度導入	82
選挙管理委員会事務局	任期満了選挙の適正かつ円滑な管理執行	83
	選挙啓発事業の推進	83
監査委員事務局	各種監査の円滑な実施	85
	例月現金出納検査、決算審査及び財政健全化法に基づく審査	85
農業委員会事務局	新・農業委員会制度での組織・活動体制の整備	87
	農地銀行による農地貸借の結び付けの強化	87
	農地適正管理システムの精度向上	87
市議会事務局	本会議、委員会等の適切な運営	89
	多様な方法による議会活動に関する情報発信の充実	89
	災害発生時における様々な通信手段の確保と緊急連絡訓練等の実施	90
	政務活動費の適正な運用	90
	他の市議会との広域的な連携	91

(1) 人口誘導・定住促進につながる情報発信

目標	市の魅力を広く市外へも PR するため、さまざまな手法による情報発信を行います。 市制施行 70 周年記念事業の実施にあわせ、市の魅力を広く市内外へ効果的・効率的に発信し、人口誘導・定住促進につなげます。
取り組み	広報アドバイザーからの助言を踏まえ、地域情報誌や民間事業者とのタイアップなどにより、市の魅力を市内外へ強く発信します。 市制施行 70 周年記念事業として、大阪市内にある京阪電車や JR の主要駅、また車内などに本市の広告を一斉に張り出す事業を実施します。また、枚方市内で撮影されたさまざまな年代の家族写真を掲載する写真集「70 年！枚方家族（仮称）」を発行します。 市ホームページに、市の魅力を発信する定住促進サイトを新設します。
	平成 29 年度当初予算：4,508 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

広告を一斉に大阪市内に張り出す「駅広告で大阪をジャック！」は7月25日～8月27日に実施。期間中に淀屋橋駅でうちの配布イベントも行った。写真集「70年！枚方家族」は10月末に納品予定。定住促進サイトは8月1日に開設。民間事業者とのタイアップについては、「関西ばど」との包括連携協定の締結に向け、総合政策部とともに調整中。

(2) 全庁的な情報発信力の強化

目標	庁内全体の情報発信力をさらに高めていくため、各部署との連携強化を図るとともに、職員の広報意識向上を図ります。
取り組み	各部署からの広報に関する課題に対して助言を行うほか、庁内報を作成することにより広報手法の周知に努めるなど、庁内の情報発信に係る支援体制を構築します。 職員の広報スキル向上のため、若手職員を対象とした情報発信に関する研修を実施します。
	平成 29 年度当初予算：113,162 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

若手職員対象の研修として6月21日に広報担当者向け研修「効果的なプレスリリースについて」を実施。各部署からの広報課題に対する助言は、ポスターデザインなどを中心に随時行っている。庁内報の作成及び庁内支援体制の構築については、今年度末までに実施予定。

(3) 平和施策や人権施策の推進	
目標	悲惨な戦争の経験を風化させることのないよう、戦争の恐ろしさや平和の尊さを若い世代に伝えるとともに、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりに取り組みます。
取り組み	市民一人ひとりの平和に対する意識の醸成を図るため、市制施行 70 周年記念事業として実施する「平和の燈火（あかり）」や「ひらかた平和フォーラム」をはじめ、平和資料室のパネル展示、平和映画会、講演会などに取り組みます。 また、人権が尊重されるまちづくりの実現に向け、より多くの市民が人権について身近に感じ考える機会となるよう、講座や映画会など多様な人権啓発事業を展開します。 平成 29 年度当初予算：7,105 千円（平和啓発）、5,156 千円（人権啓発）

9 月末の進捗状況【〇】	市民の平和に対する意識の醸成を図るため、5 月に講演会「憲法をつどい」、夏季に平和資料室の特別パネル展、平和映画会等を実施した。また、市民が人権について身近に感じ考える機会となるよう、夏休みに親と子の人権映画会、9 月に講座「生きること」を実施した。市制施行 70 周年記念事業として 3 月に実施する「平和の燈火（あかり）」や「ひらかた平和フォーラム」については、現在、企画内容等検討中である。
--------------	--

(4) DV 予防や男女共同参画の取り組みの推進	
目標	次代を担う子どもたちに対し、暴力の被害者や加害者にならないための DV 予防や男女共同参画の理解を深める学習を推進します。 働き方の見直しにより長時間労働を抑制し、男女ともに家事、育児、介護などへ参画するなど、ワーク・ライフ・バランスの促進を図るため、市内事業者を対象とした研修会を実施するなど取り組みを充実します。また、関係機関と連携し、啓発事業や相談事業の充実を図ります。
取り組み	教育委員会と連携し、小学 4 年生を対象に「DV 予防教育プログラム」を実施します。また、枚方事業所人権推進連絡会と意見交換をしながら、市内事業所を対象とした効果的な啓発を行います。 男女共生フロア・ウィルの枚方市駅近隣への移転を契機に、幅広い市民が男女共同参画について関心を持ってもらえるよう男女共同参画推進事業を実施します。 平成 29 年度当初予算：2,685 千円（DV 防止対策事業経費）、10,344 千円（男女共生フロア経費）

9 月末の進捗状況【〇】	DV 予防教育プログラムについては、市内小学校 4 校で実施した（対象 7 校中）。また、中学生向けのデート DV 予防教育を中学校 1 校で実施した。枚方事業所人権推進連絡会の夏期研修会において講座「ワーク・ライフ・バランスを実現する職場づくり」を開催した。男女共生フロア・ウィルの移転に伴い、仕事帰りの市民を対象にした男女共同参画に関するミニ講座や映画上映会を夜間の時間帯に実施し、幅広い市民層にウィルが身近な男女共同参画の拠点施設であることを PR した。
--------------	---

(1) 総合計画・総合戦略の進行管理について

目標	長期的かつ計画的な行政運営を推進するため策定した「第5次枚方市総合計画」や、さらなるまちの魅力向上をめざして効果的な取り組みを集中して実施していくとして策定した「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に向けて、新たに構築した施策評価制度に基づき進行管理を行います。
取り組み	計画や戦略に掲げる施策を着実に進めるため、前年度に実施した主要な事業について目標達成に向けた実績度を把握し、有識者などの外部評価員や市民からの意見・提案をいただきながら、検証・評価を行い、必要に応じて次年度事業の改善・見直しを行うことで計画の実行性を高めていきます。
	平成 29 年度当初予算：330 千円

9 月末の
進捗状況
【〇】

前年度に実施した主要事業の実績や、施策指標の推移について、8月に外部評価員による意見・提案等をいただきながら検証・評価を行い、9月に施策評価の結果をホームページにて公表した。今後は評価結果を踏まえながら、次年度事業の改善・見直しにつなげていくとともに、総合戦略の見直しの検討を進めていく。

(2) シティプロモーションの推進及びまちの魅力向上に係るマーケティング

目標	人口減少への対応や定住促進を図る取り組みとして、本市の魅力や活力をより高めるための施策を推進します。
取り組み	定住促進・人口誘導対策の新たな取り組みの具体策として、子育て支援・教育の充実、健康寿命の延伸、産業活性化、雇用促進、交流促進、賑わい創出、住環境の向上や情報発信の充実等の施策を進め、外部有識者などの意見も踏まえながら、より効果的な取り組みを推進するとともに、その情報をさまざまな媒体を通じて発信します。

9 月末の
進捗状況
【〇】

昨年度の定住促進・人口誘導対策検討委員会での報告書を元に、4月には定住促進・人口誘導に係るリーフレットを作成し、広報アドバイザーの意見も参考に、多くの子育て世代が来場する住宅展示場や枚方まつり等のPRブースで周知を行った。

また、市民の転入・転出の傾向分析を踏まえ、シティプロモーションの推進に向けた考え方をまとめている。

(3) 市制施行 70 周年記念事業の実施	
目標	「枚方の魅力をともに高める」をテーマとして、市制施行 70 周年を盛り上げていくための取り組みを実施します。
取り組み	<p>枚方市 PR 大使の方々を通じ、本市の魅力等を市内外に発信するほか、以下の事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淀川河川公園を利用した SUP&カヌー体験（9 月） ・市制施行 70 周年を記念した切手の発行（10 月頃） ・開運！なんでも鑑定団 in 枚方（2 月頃）
	
	<p>夢のせて 70 年 さらにはばたく 枚方市</p>
	平成 29 年度当初予算：3,450 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	<ul style="list-style-type: none"> ・こども夢基金活用事業を活用し、9 月 10 日（日）に淀川河川公園枚方地区にてキッズわくわく乗り物体験を実施した。カヌーや SUP、警察車両、消防車両で延べ約 700 名の体験数であった。 ・枚方市出身・在住の切り絵作家であるたけうちひろ氏にデザインを依頼し、オリジナルフレーム切手を作成した。10 月 2 日（月）から市内郵便局にて 1000 枚限定で販売予定である。 ・鑑定に向けたお宝募集や収録日の観覧募集を開始した。広報ひらかた 10 月号や市内各所に設置しているチラシ等にて周知し、参加者を募集中である。
-------------------------------	--

(4) ふるさと寄附金の推進	
目標	平成 28 年度から返礼品の送付を開始したふるさと寄附金について、さらに、平成 29 年 4 月からは返礼品の拡充や市ホームページ等による情報発信の強化等を図ることにより、財源確保及び地域産業の活性化を引き続き推進します。
取り組み	<p>体験型の返礼品として、「市長がエスコート！枚方市内の文化財見学ツアー」を今秋に実施するなど、魅力ある返礼品のラインナップ充実に向けた取り組みを進めます。</p> <p>平成 29 年度当初予算：93,970 千円</p>

9 月末の 進捗状況 【○】	<p>文化財見学ツアーは 10 月 23 日（月）、11 月 13 日（月）の実施に向け、引き続き各種 PR 及び受け付けを行っている。</p> <p>また、寄附者の多様なニーズへの対応等を図るため、多くの寄附が予想される 12 月を見据え、返礼品協力事業者の追加公募を実施する予定である。</p>
-------------------------------	---

(5) 外郭団体等の経営状況等に対する外部評価員による点検・評価の実施	
目標	外郭団体等のさらなる経営健全化を促進するとともに、本市の外郭団体等への関与の必要性や支援方法の見直しを行い、本市と各団体との関係性の適正化を図るため、経営状況等の点検・評価を実施します。
取り組み	団体の経営状況等に対して、外部評価員による専門的な観点からの点検・評価を実施し、外郭団体等への支援のあり方をはじめとした市の関与方法の再検討を行います。
	平成 29 年度当初予算：625 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	「外郭団体等の経営状況点検・評価実施方針」を策定し、「枚方市外郭団体等経営評価員」3 名による点検・評価の取り組みを実施している。
----------------------	---

(6) 事務事業・補助金の見直し	
目標	既存の事務事業や補助金の見直しを行い、健全な財政運営を図りながら「豊かで誇りある枚方」の創造に向けた新たな事業を実施していくための財源確保に取り組みます。
取り組み	「事務事業・補助金見直し計画（計画期間：平成 29 年度～平成 31 年度）」に基づき、事務事業や補助金の廃止、改善などの取り組みを進めます。また、新たに見直しが可能な事務事業・補助金については、見直し内容を計画に反映するとともに、補助金については、終期を設定するサンセット方式の導入を進め、引き続き適正で透明性の高い制度運用を図ります。
	平成 29 年度当初予算（反映効果額）：119,460 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	平成 30 年度当初予算反映に向けて、見直しにより新たに改善や廃止を行う事務事業、補助金の精査・検証を行っている。
----------------------	---

(1) 枚方市駅周辺再整備の推進

目標

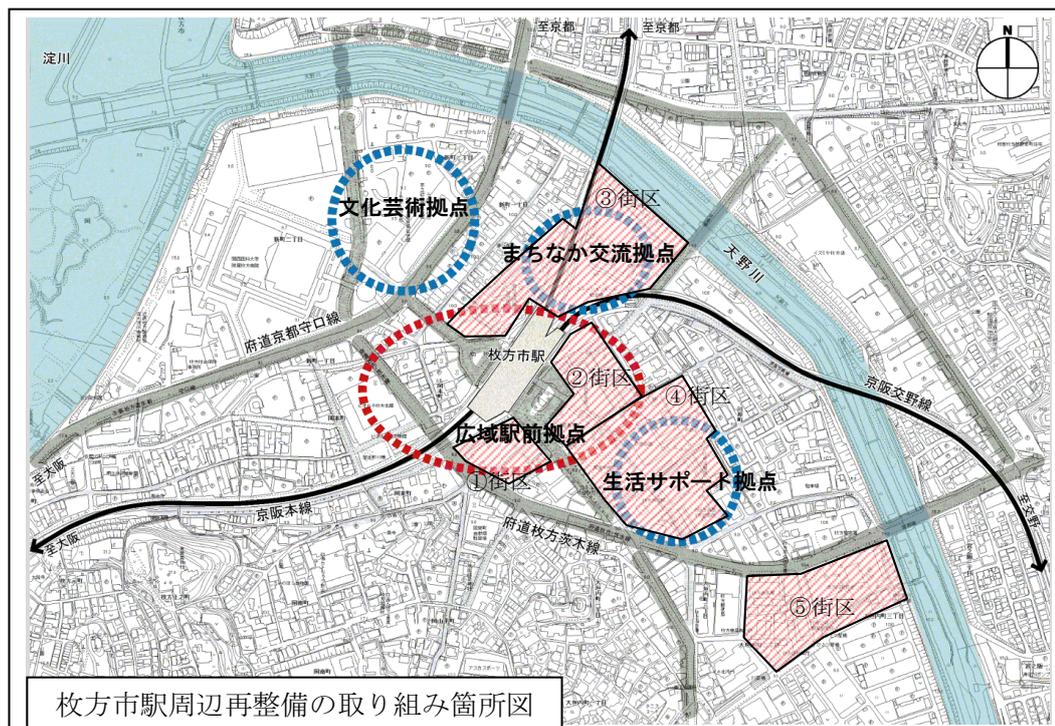
本市の中心市街地である枚方市駅周辺地域の賑わいを取り戻し、まちの魅力を高めるため、枚方市駅周辺再整備の早期実現化に向けた取り組みを進めます。

新庁舎の整備については、昨年度からの検討を踏まえ、⑤街区での国・府・市による合同庁舎化による検討を進め、できる限り早い段階で今後の方針を示します。

また、枚方市駅周辺再整備を円滑に進めるため、市街地再開発事業等の都市計画手続きに必要な現況平面図の作成などに取り組むとともに、大阪府住宅供給公社や京阪ホールディングス株式会社などと連携して、③街区における市街地再開発事業の事業化に向けた検討を進めます。その他街区については、引き続き地元検討組織等への技術的支援を行います。

市駅周辺の活性化を促進するため、北大阪商工会議所や事業者との連携によるエリアマネジメントを推進します。

取り組み



平成 29 年度当初予算：15,084 千円

9月末の 進捗状況 【○】	<p>新庁舎の整備について国・府・市による検討を進め、⑤街区で枚方税務署と本市の合同庁舎化、北河内府民センターを③街区へ移転するという方向で基本的な考え方の整理を行った。</p> <p>市街地再開発事業等の都市計画手続きに必要な現況平面図の作成などに取り組むとともに、③街区については地権者と連携を図りながら、市街地再開発事業の事業化に向けた検討を進めている。その他の街区においても、意見交換等を実施した。</p> <p>また、平成30年度に「枚方市駅周辺再整備基本計画」を策定していく中で、民間アドバイザーから幅広い視野で、かつ公平性を保ちながら提案・助言を求めるため、その選定に取り組んでいる。</p> <p>市駅周辺の活性化を促進するための取り組みとして、北大阪商工会議所や事業者とエリアマネジメントの推進について意見交換を実施した。</p>
------------------------------	--

(2) 香里ヶ丘地域のまちづくり	
目標	香里ヶ丘地域の活性化に向け、香里ヶ丘図書館の建て替えと隣接する香里ヶ丘中央公園の再整備などのまちづくりの取り組みを推進します。
取り組み	<p>香里ヶ丘図書館の建て替えと香里ヶ丘中央公園の再整備については、整備後の活用も踏まえ一体的に進めます。</p> <p>民間ノウハウを活用し、プロポーザル方式により設計事業者を選定するとともに図書館の設計とあわせて、香里ヶ丘地区の再生や図書館、公園の両施設の機能連携強化に向けた考え方についての提案も求め、香里ヶ丘中央公園の再整備にも生かしていきます。</p> <p>また、香里ヶ丘地区でのまちづくりが本市の活性化のモデルケースとなるよう包括連携協定を締結したUR都市機構と連携した取り組みを推進します。</p> <p>平成29年度当初予算：2,868千円（社会教育部予算）</p>

9月末の 進捗状況 【○】	<p>香里ヶ丘地区の活性化に向けた取り組みの一環である香里ヶ丘図書館の建て替え事業について、設計事業者をプロポーザル方式で選定し、図書館と公園の機能連携強化に向けた設計に取り組んでいる。</p> <p>また、UR都市機構とも香里ヶ丘地区の活性化に向けて、情報の共有化を図りながら取り組みを進めている。</p>
------------------------------	--

(1) オリジナルの婚姻届書や出生届書の作成

目標	郷土愛がより深まるよう、本市及び交野市のキャラクターを採用したオリジナルの婚姻届書や出生届書を作成するとともに、記念撮影コーナーを本庁市民室・各支所の計4カ所に設置します。
取り組み	オリジナルの婚姻届書については、七夕に合わせて7月から、出生届書については10月から、配布します。また、これに合わせて、本庁市民室・各支所に記念撮影コーナーを設けます。
	平成 29 年度当初予算：3,273 千円

9 月末の
進捗状況

【○】

平成 29 年 7 月 1 日より、オリジナル婚姻届書と記念品を配布した。また、本庁市民室・各支所に記念撮影コーナーを設置。

平成 29 年 9 月末現在、オリジナル届書の配布件数は 271 件となっている。

(2) 協働によるまちづくりの推進

目標	地域の公共的課題を効果的に解決するためには、行政だけでなく、市民や市民団体（校区コミュニティ協議会、NPO など）、事業者といったさまざまな主体がまちづくりの担い手となり、協働してまちづくりに取り組んでいくことが重要です。 協働の実現には、職員の協働に対する理解をより深め、従来の形にとらわれない新たな発想が必要であり、全庁的な協働の機運を高めていきます。
取り組み	協働によるまちづくりを今後さらに推進していくため、地域担当職員制度の充実や地域との関わりをより深めるための取り組みを検討するとともに、協働ハンドブックを活用した学習会の開催等に取り組む、職員の協働の意識を高めていきます。 また、地域の公共的課題の解決に取り組んでいる NPO との意見交換会をひらかた市民活動支援センターと協働して実施します。
	平成 29 年度当初予算：570 千円

9 月末の
進捗状況

【○】

地域担当職員制度をより実効性のある制度としていくため、新たに 5 名の職員を任命するとともに、今後の関わり方や活動内容について枚方市コミュニティ連絡協議会と意見交換を行った。また、協働ハンドブックを職員に周知するため、6 月に職員向け説明会を実施した。

その他、NPO との意見交換会の開催に向けて、庁内各部署及びひらかた市民活動支援センター登録団体に対して意向調査を実施した。

(3) 校区コミュニティ協議会に対する補助制度の再構築

目標	校区コミュニティ協議会の主体的な活動を支援するため補助金を交付していますが、地域では役員の高齢化や担い手不足、活動資金の確保など、さまざまな課題を抱えています。今後、地域活動の活性化を図っていくためにも、地域の自主性を高める補助制度の構築に向けた取り組みを進めます。
取り組み	校区コミュニティ協議会への補助制度については従来の手法を見直し、より地域の自主性が高められるよう、協働の視点を持ちながら制度の再構築を行います。

9 月末の
進捗状況
【△】

地域の自主性を高める補助制度の構築に向けて、現行制度の課題の整理や校区コミュニティ協議会との協働のあり方について検討を行っている。

(4) 防犯カメラの増設

目標	通学路等の安全対策の強化に向け防犯カメラを増設します。
取り組み	防犯環境整備事業の一環として街頭犯罪の未然防止と犯罪発生時の迅速な対応等を目的に、現在、市内に329台の防犯カメラを設置し運用していますが、通学路等の安全対策を強化する手段の一つとして650台の防犯カメラを増設し、通電作業が完了した防犯カメラから試験運用として活用しながら、平成29年10月から本格運用を開始します。 平成 29 年度当初予算：38,202 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

増設する 650 台の防犯カメラの設置場所は、通学路や学校施設周辺に加え、大阪府警察本部並びに枚方・交野両警察署と現地調査を行い候補場所として選定したものを、校区コミュニティ協議会や枚方市防犯協議会を通じて、各地域からのご意見・ご要望を伺い決定した。また、平成 29 年 10 月からの本格運用に向けて、機器の設置と通電作業が完了した防犯カメラから順次運用を開始した。

(5) 防災啓発の充実	
目標	多様な啓発活動の実施で、広く市民へ防災啓発を行います。
取り組み	市内イベントにおける防災啓発ブースの出展や地域の自主防災訓練への支援、各種出前講座の実施などを通じて、防災知識の普及、「自助共助」意識の高揚につなげていきます。
平成 29 年度当初予算：724 千円	

9 月末の 進捗状況 【○】	8 月 27 日の「ひらかたまつり」に防災ブースを出展し、約 410 名が来訪した。今後、10 月 1 日「ひらかた NPO フェスタ」への出展をはじめ、各イベントに防災ブースの出展を予定している。
----------------------	---

(6) 消費者被害対策の推進	
目標	消費者問題が複雑化・多様化する中、深刻なトラブルに遭わないよう、消費者一人ひとりに正しい知識を身につけていただくため、さまざまな消費者教育・啓発等を行います。
取り組み	市民向け講演会や教育機関への消費者教育支援等を通し、消費生活における的確な意思決定・行動が出来る消費者の育成に努めます。また、消費者トラブルに巻き込まれた際の相談ダイヤル(188)をコンビニの POS レジ画面上に表示することで、幅広い年齢層を対象に消費生活センターを周知します。あわせて、高齢相談者への取り組みを強化するため、関連部門との連携を密にし、情報収集に努めます。

9 月末の 進捗状況 【○】	市民向け講演会等を 10 回、市立小中学校 17 校で学校講演会を実施した。POS レジ液晶画面広告は 10 月 31 日より市内の一部コンビニで実施するよう準備を進めている。
----------------------	--

(1) 職員のやる気をさらに高めるメリハリのある人事・給与制度の構築

目標	社会一般の情勢に適応した適正な給与水準の確保に努め、職員のやる気をさらに高めるメリハリのある人事・給与制度の構築を図ります。
取り組み	職員のモチベーションのさらなる向上を目的に、新たに設置する「枚方市人事行政制度調査審議会」における検討状況等を踏まえ、メリハリのある人事・給与制度の構築を図ります。また、あわせて技能労務職員については、担うべき職務内容の整理を行い、適正配置と給与水準の適正化に向けた取り組みを進めます。

9 月末の
進捗状況
【○】

「枚方市人事行政制度調査審議会」を設置し、諮問事項の「職員の職務と責任に応じたメリハリのある人事給与制度の構築」について、本市の人事給与制度における改善・改革を要する事項等について調査審議を重ねている。また、技能労務職員の職務内容の整理については、関係部署の実情を踏まえながら、具体的な方向性を示し職員団体と協議を重ねている。

(2) 職員の多様な価値観や個性を尊重する市役所づくり

目標	多様な価値観や発想を行政に反映させる観点から、採用、登用、人材育成、職場環境の改善など、あらゆる面から女性の活躍を推進します。 また、障害者差別解消法に基づく施策を推進し、障害者雇用に積極的に取り組むとともに、障害のある職員が採用後も安心して永く働き続けることができる職場環境の醸成に努めます。
取り組み	「女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画」に基づき、職員の意識改革などを行い、女性の活躍を推進する様々な取り組みを進めます。 また、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」などを活用し、研修を通じて職員理解を深めるほか、障害者枠を設定した採用を検討するなど、障害者雇用や就労支援に積極的に取り組みます。
	平成 29 年度当初予算：490 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

女性活躍の推進については、本市ホームページにロールモデルとなる女性管理職のインタビュー等を掲載したほか、各種研修等の実施を予定している。障害者雇用については、障害者枠を設定した採用試験を実施するなど、継続して取り組んでいる。

(3) 職務の執行に対する意見、要望等の記録の公表

目標	「職務の執行に対する意見、要望等の記録」を公表することにより、不適当要求行為を防止し、適正な公務の執行及び健全な市政の運営の確保を図ります。
取り組み	「職務の執行に対する意見、要望等の記録」の公表基準を定め、平成28年度の意見、要望等から公表を行います。

9月末の
進捗状況
【○】

「職務の執行に対する意見、要望等の記録」について公表基準を定め、これに基づく、各任命権者からの報告を整理しているところである。平成28年度の意見、要望等について、平成29年12月末までに公表を行う予定である。

(4) 情報公開制度及び個人情報保護制度の見直し

目標	マイナンバー制度の開始に伴い、個人情報保護制度が部分的に全国化・共通化されるとともに、「個人情報保護法」及び「行政機関個人情報保護法」が改正され、個人の行動・状態等に関するいわゆるパーソナルデータの利活用の促進が図られたことも踏まえて、情報公開制度及び個人情報保護制度の円滑な推進に向けた見直しを行います。
取り組み	行政の情報化が進展する社会状況の変化によって生じた制度上の課題の解決及び国制度との間にある不合理な差異の解消に向け、見直しに取り組みます。

9月末の
進捗状況
【◎】

行政の情報化が進展する社会状況の変化によって生じた制度上の課題の解決及び国制度との間にある不合理な差異の解消を図り、今後も情報公開制度及び個人情報保護制度を円滑に運用するため、情報公開条例及び個人情報保護条例の改正を行った。平成30年4月までに運用の詳細を整理していく。

(5) 市制施行70周年記念式典の開催

目標	市制施行70周年の節目の年にあたり、「枚方市市制施行70周年記念式典」を開催します。
取り組み	平成29年11月8日、記念式典を開催し、市有功者や市政功労者への表彰や、本市に縁のある著名人によるイベント等で、市民の皆さんとともに枚方市の歩みを振り返り、70周年を祝います。
	平成29年度当初予算：3,918千円

9月末の
進捗状況
【○】

記念式典の開催に向けて、表彰受賞者や招待者へ案内を送付し、実施するイベント等の準備を進めている。

(6) 電子自治体推進事業	
目標	「オープンデータ（公開する行政情報）」の拡充を図り、行政の透明性・信頼性を確保するとともに、官民協働によるまちづくりを推進します。また、庁内にタブレット端末を用いた「ペーパーレス会議システム」を導入する等、ITを活用した行政事務の効率化を図ります。なお、より一層行政サービスを向上させる観点から、「行政手続のオンライン化（電子申請）」の導入について、検討を進めます。
取り組み	「オープンデータ」は、引き続き拡充を進めるとともに、平成28年度に市民参加イベントで作成されたアプリを市の試行版アプリとして市内大学と共同で拡張するなど、さらなる利活用の促進を図ります。また、庁内会議の運営の円滑化・効率化を図るため、より効果的に「ペーパーレス会議システム」を利用できるよう、職員のシステム操作スキルの向上に努め、本格導入に向けた取り組みを進めます。 さらに、行政手続きがワンストップでできる「マイナポータル（マイナンバー制度のオンラインサービス）」の運用開始に向け、関係部署と環境整備に取り組みます。
	平成29年度当初予算：2,800千円

9月末の 進捗状況 【○】	オープンデータの拡充のための調査を行うとともに、市内大学との共同研究により、市の試行版アプリの機能拡充等を進めた。 「マイナポータル」の運用開始に向け、関係部署と調整を図った。 より効果的に「ペーパーレス会議システム」を利用できるよう、タブレットでの閲覧性を考慮した資料作成におけるポイント等、検討を行った。
---------------------	--

(7) 公衆無線LAN環境整備事業	
目標	災害時における住民の情報収集及び発信の通信基盤を整備するため、公共的な防災拠点等に「公衆無線LAN」を設置し、市民・地域の安全を確保します。また、平時においても、「公衆無線LAN」を有効に開放し、市民等の利便性の向上を図ります。
取り組み	災害時の第1次避難所である市民交流センター、メセナひらかた会館、枚方公園青少年センター、サプリ村野の4拠点に「公衆無線LAN」を導入し、平成30年1月より稼働予定です。（同時に、第1次避難所である教育施設（小中学校）にも整備予定です。）
	平成29年度当初予算：8,481千円

9月末の 進捗状況 【○】	総務省の補助金（公衆無線LAN環境整備支援事業）の申請を行い、交付の決定を受けた。また、環境整備に係る委託契約の締結をした。
---------------------	--

(1) 公共施設マネジメントの推進

目標	今後老朽化が懸念される公共施設について「枚方市公共施設マネジメント推進計画」に基づき、機能の見直しや「更新」「統廃合」「長寿命化」などを計画的に行うことにより財政負担の軽減・平準化を図るとともに、最適な施設配置を実現できるよう、公共施設マネジメントを全庁横断的に推進します。
取り組み	平成 30 年度からの公共施設評価実施に向け、「施設カルテ」の作成と、施設の集約化や複合化などを適切に判断できるよう評価手法についての検討を進め、「公共施設評価基準」を作成します。

9 月末の
進捗状況
【○】

公共施設マネジメント推進委員会及び推進会議を計 5 回開催し、「施設カルテ（案）」と「施設評価基準（案）」を作成中。

(2) 新地方公会計制度の導入

目標	財政の透明性を高め、市の財政に関する市民への説明責任をより適切に図るため、国の示す統一的な基準による新たな公会計制度に基づく財務書類を作成します。新たな公会計制度は、複式簿記、発生主義により、現金支出を伴わないコストの把握や、ストック情報とフロー情報の両面を把握することが可能となります。今後、適切な資産管理、予算編成などに活用していく予定です。
取り組み	本市では、平成 28 年度において、平成 27 年度決算数値に基づく一般会計等の財務書類の作成を行いました。平成 29 年度においては、平成 28 年度決算数値に基づき、一般会計等財務書類に公営事業や、一部事務組合等の会計を連結した財務書類を作成します。

9 月末の
進捗状況
【○】

平成 28 年度決算数値に基づく一般会計等の財務書類を作成するとともに、連結財務書類の作成に向け、作業を行っている。

(3) 未収金対策の強化

<p>目標</p>	<p>市税については、これまで現年度課税分に重点を置いた徴収を行うことにより滞納繰越を防止する取り組みや、債権を中心とした厳格な滞納処分の執行等の取り組みにより、平成 27 年度に徴収率 97.9%を達成しました。今後も目標とする 98%の達成と、その後の維持向上に努めます。</p> <p>税外債権については、平成 27 年度末において約 60 億円の未収金があり、その縮減に向けて債権回収条例を制定し、条例に基づく取り組みを進めます。</p>
<p>取り組み</p>	<p>市税の収入確保については、徴収率の向上を図る方策として、個人住民税における特別徴収の徹底について平成 30 年度からの特別徴収義務者の一斉指定に向け、予告通知を送付するとともに、これまで効果のあった取り組みを充実させ、滞納繰越額をさらに縮減させていきます。</p> <p>税外債権については、債権管理の更なる明確化や統一基準として債権回収条例を制定し、適正で効率的な事務処理を行い、未収金回収強化の取り組みに努めます。</p>

<p>9 月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>市税の収入確保については、平成 30 年度からの特別徴収義務者の一斉指定に向けて、ホームページ等での周知に努めるほか、これまでに効果のあった取り組みを充実させるなど、滞納繰越額の縮減に努めている。</p> <p>税外債権については、9 月定例会議会において「枚方市債権管理及び回収に関する条例」が可決され、平成 30 年 4 月から施行する。</p>
-------------------------------	--

(4) ふるさと寄附金ワンストップ特例の対応

<p>目標</p>	<p>平成 27 年の税制改正による、ふるさと寄附金にかかる特例控除額の拡充とワンストップ特例の創設に伴い、ふるさと寄附金は全国的に大幅に増加しており、ワンストップ特例申請について今後も増加が予想されることから、適正かつ効率的な事務執行を図ります。</p>
<p>取り組み</p>	<p>ワンストップ特例申請にかかる他自治体への寄附に伴う本市への通知は、平成 27 年約 6400 件、平成 28 年約 1 万件と増加しています。本市への寄附に伴う申請も、平成 27 年 3 件から、平成 28 年の返礼品開始により約 900 件と大幅に増加しています。今後とも増加することが見込まれるため、特例申請の適用・非適用の確認も含め、迅速かつ適切に処理できるよう体制整備を図ります。</p>

<p>9 月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>本市へのふるさと寄附金受入れに係る事務と本市納税義務者に対する寄附金税額控除に係る課税事務を区分し、前者については本市の魅力発信の観点から総合政策部に所管を移し、より効率的に市民からの問い合わせ等に対応できるよう体制整備を行った。</p>
-------------------------------	--

(5) 固定資産税の評価替え

目標	平成 30 年度は、土地・家屋について 3 年ごとに見直す評価替えの年度にあたるため、適正な評価替えに向けての準備を進めます。
取り組み	評価替えに伴い、固定資産評価事務取扱要領（土地編）、家屋評価マニュアルの改編・改正を行い、課内における研修等も行うことで担当職員全員が評価替えにかかる統一的基準の認識と手法等についての認識を共有し、適正な評価を行っていきます。

9 月末の
進捗状況
【○】

固定資産評価事務取扱要領（土地編）と家屋評価マニュアルについて、評価替えに伴う改正点の洗い出しを行った。

(1) 観光施策の戦略的推進

目標	賑わいの創出や地域の活性化を図るため、淀川の自然や枚方宿といった歴史・文化資源をはじめ、ショッピングモールといった民間施設などあらゆる地域資源を活用し多くの人が訪れたいと思えるまちとなるよう取り組みを進めます。
取り組み	枚方市において活用可能な地域資源の掘り起こしを行い、様々な媒体を活用して情報発信を行います。

9 月末の
進捗状況
【○】

社会実証実験として、川原町商店街及び宮之阪商店街より簡易宿泊施設 GOEN の宿泊者へのサービス提供を開始したほか、民間の地域情報サイト「枚方つーしん」に市職員による市内飲食店情報の記事を掲載することにより、市内外に本市の「食」の魅力についての情報発信を行った。

(2) 新たな名物の開発及び発信

目標	本市と交野市の共通の地域資源である天野川を活用した「天の川ツーリズム」や、「ふるさと名物応援宣言」の実施等、これまでの取り組みに加え、両市の地域資源を活用した名物商品の開発などにより、さらなる魅力発信に取り組みます。
取り組み	交野市、北大阪商工会議所、民間事業者等と連携を図り、枚方市と交野市の地域産業資源等を活用した新たな名物となる商品開発に取り組みます。 平成 29 年度当初予算：1,000 千円（交野市：1,000 千円）

9 月末の
進捗状況
【○】

枚方市と交野市の企業とのマッチングにより誕生した日本酒の 6 月販売開始にあたり、広報等の支援を行った。また、天野川に群生する「セイタカヨシ」等の活用に向けた調査を行っている。

(3) 市制施行 70 周年記念事業の実施

目標	市制施行 70 周年を契機に地域資源を活用した事業を実施し、賑わいの創出やまちの魅力創造につなげます。
取り組み	地域資源である淀川や枚方宿地区において、「音と光のファンタジーナイト」を含む複合イベント「HIRAKATA くらわんかーにばる」や「枚方宿時代行列」を実施し、関連実施する事業が新たな賑わいを創出する地域事業として定着することをめざします。 また、本市への愛着や誇りが深まるよう「ひらかた Quiz グランプリ」を実施します。 平成 29 年度当初予算：42,200 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	事業の円滑な実施を図るため、各事業ごとに実行委員会を組織した。また、「HIRAKATA くらわんかーにぼる」及び「ひらかた Quiz グランプリ」についてはチラシ・ポスターを作成・配布するなど、広報活動を行うとともに、協賛金を募集するなど、財源の確保に努めた。引き続き、各事業の着実な実施に向けた取り組みを進める。
----------------------	---

(4) 生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度の導入	
目標	指定管理者制度を先行導入した蹉跎・牧野の導入状況の検証を行い、楠葉・御殿山・津田・菅原の 4 カ所の生涯学習市民センターと図書館の複合施設について、平成 30 年度からの導入に向け取り組みます。
取り組み	先行導入 2 施設の導入状況の検証結果や各施設の多様性、選定における競争性の確保の観点等を踏まえ業務仕様を検討していきます。 平成 29 年度当初予算：113,040 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	先行導入 2 施設を含む、複合全 6 施設への指定管理者制度導入に向け、選定手続き中である。
----------------------	--

(5) 枚方市文化芸術振興計画の推進	
目標	平成 29 年 3 月に策定した枚方市文化芸術振興計画に基づき、文化芸術施策を総合的に実施します。本計画に掲げる文化芸術活動の拠点施設の整備については、集客と賑わいを創出する新たな文化芸術の拠点として（仮称）枚方市総合文化芸術センターの平成 32 年度中の開館をめざすとともに、文化芸術アドバイザーの配置や同センターへの指定管理者制度導入に向け、取り組みます。また、本市の美術施策の推進に関する基本的な考え方を取りまとめます。
取り組み	文化芸術振興計画に基づき、学校へのアウトリーチ事業として子どもたちが直に文化芸術に触れる機会を提供するとともに、公共スペース等で展示を行い、若手芸術家の育成を支援する事業を展開するなど、具体的な文化芸術施策の推進に取り組んでいきます。 拠点施設の整備については、昨年度に引き続き（仮称）枚方市総合文化芸術センターの設計作業を進め、平成 29 年度中に実施設計を完了します。また、同施設のプレ事業やオープニングイベントのプロデューサーとして事業企画等を担当する文化芸術アドバイザーの選定を行うとともに、指定管理者制度導入に向けた具体的な検討を進めます。 本市には優れた美術作品を鑑賞できる機能や、美術作品などを保存し、調査研究を行

	う機能が不足しているなどの課題を踏まえ、平成 29 年度中に美術館を含む美術施策の推進に関する基本的な考え方を策定します。
	平成 29 年度当初予算：169,438 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	（仮称）枚方市総合文化芸術センターにおける、設計作業については今年度中の完了をめざして作業を進めている。指定管理者制度については公募による指定管理者制度導入に向けて関連部署と調整を進めている。また、文化芸術アドバイザーについては、今年度中の選任に向けて調整を進めている。美術施策の推進に関する基本的な考え方については、美術施設運営委員協議会や庁内委員会を開催し、具体的な内容について検討を進めている。
----------------------	--

（6）農業被害対策事業	
目標	近年の急激な都市化や生活様式の変化により、自然環境に大きな影響を与え、野生鳥獣の生息数、生息域が拡大したことから、農作物や農地への被害が生じており、貴重な農地を保全するため、有害鳥獣を一定数捕獲することで、自然と調和のとれた環境保全に取り組みます。
取り組み	大阪府猟友会との業務委託契約により、有害鳥獣の捕獲を行います。 平成 29 年度当初予算：350 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	大阪府猟友会との業務委託契約を締結し、有害鳥獣の捕獲を行った。 （9 月末現在、捕獲 8 件）
----------------------	--

平成 29 年度

健康部 重点施策・事業の進捗状況

※保健所については、別途進捗状況を作成しています。

(1) 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業の推進

目標	市内の充実した社会資源を最大限に活用し、市民の健康増進や地域医療のさらなる充実、災害時における医療救護体制の強化を図るため、健康医療都市ひらかたコンソーシアムに掲げる 8 つの分野の連携事業に基づき、構成団体と連携して、災害医療訓練をはじめ、市内の医療機関への医療通訳士派遣や小中学生に対する健康教育、健康づくり・介護予防、産後ケア事業、健康医療に関する情報発信などの連携事業を推進します。
取り組み	健康医療都市ひらかたコンソーシアム 5 周年記念事業として、健康・医療・福祉フェスティバルと同日に、在宅医療をテーマとした講演会を開催するとともに、コンソーシアムの 5 年間の取り組みを紹介したパンフレットを作成します。また、平成 27 年 6 月から実施している医療通訳士登録派遣事業は、さらなる派遣体制の安定を図り、かつ、対象言語の拡大を図るため、第 3 回医療通訳士養成講座を実施します。
	平成 29 年度当初予算：6,372 千円

**9 月末の
進捗状況
【O】**

10 月 22 日（日）にコンソーシアム 5 周年記念事業として、やなせななさんによる講演会「大切な人と生きること～在宅医療を考える～」を開催予定。10 月 20 日（金）まで申し込みを受け付けている。5 周年記念のパンフレット及び記念品についても作成を進めている。
医療通訳士登録派遣事業については、9 月から養成講座を実施している。

(2) 救急医療体制の整備

目標	本市には、北河内夜間救急センターや枚方休日急病診療所などの初期救急医療機関から高度救命救急医療機関までが整備されており、この機能を維持し、引き続き確保します。また、老朽化した医師会館及び休日急病診療所の市立ひらかた病院整備後の有効活用地への移転にあわせて、初期救急医療体制について検討を行います。
取り組み	関西医科大学附属病院をはじめとする救急医療機関を支援するとともに、北河内夜間救急センターの事務局として、年間を通じた夜間小児救急医療の円滑な提供に努めます。また、医師会館及び休日急病診療所の移転にあわせて、初期救急医療体制のあり方について、関係諸団体、諸機関との協議・調整を行いながら検討を進めます。
	平成 29 年度当初予算：239,876 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	関西医科大学附属病院をはじめとする救急医療機関に対して支援を行った。北河内夜間救急センターについては、受診対象を中学 3 年生までに拡充し、夜間における小児救急医療の円滑な提供に努めた。
----------------------	---

(3) 災害時の医療救護体制の再構築	
目標	災害時の医療救護体制の強化に向けて、関係機関との連携を進めます。
取り組み	<p>災害時の医療救護体制の強化に向けて、関係機関との協議・調整を行いながら、国が広域的に行う大規模地震時医療活動訓練にあわせた訓練を実施するとともに「枚方市災害時医療救護活動マニュアル」の策定を進めます。</p> 
平成 29 年度当初予算：2,064 千円	

9 月末の 進捗状況 【○】	7 月 29 日の国の大規模地震時医療活動訓練にあわせ、枚方市災害医療対策会議として参画し、拠点応急救護所の設置訓練及び傷病者への医療救護活動に係る医師会医療班と DMAT・AMAT との協働連携訓練を実施した。また、「枚方市災害時医療救護活動マニュアル」の策定も進めている。
----------------------	--

(4) 第 3 次枚方市食育推進計画の策定	
目標	子どもから大人まで市民一人ひとりが自らの「食」について考え、行動することを目的に、食育を総合的かつ計画的に推進する指針として「第 3 次枚方市食育推進計画」を策定します。
取り組み	平成 28 年 3 月に策定された国の第 3 次食育推進基本計画を踏まえ、本市においても食育基本法第 18 条に基づく市町村計画を策定するため、「食に関する市民意識調査」等を実施して基礎データの収集を行い、平成 30 年度から平成 34 年度までを計画期間とする「第 3 次枚方市食育推進計画」を策定します。
平成 29 年度当初予算：2,024 千円	

9 月末の 進捗状況 【○】	第 3 次枚方市食育推進計画を策定するため、「食に関する市民意識調査」(6 月 17 日～7 月 8 日)を実施し、基礎データの収集を行った。また、審議会を 2 回開催し、市民意識調査の結果をもとに食をめぐる現状と課題を確認し、第 3 次計画の骨子、基本理念、基本方針について審議を行った。
----------------------	---

(5) 国民健康保険特別会計の財政健全化	
目標	累積赤字の解消を図り、平成 30 年度から施行される国民健康保険制度の広域化の準備を進めます。
取り組み	滞納処分強化等による保険料収納率の向上、ジェネリック医薬品の利用促進等による医療費の適正化、一般会計からの基準外繰入金削減等の取り組みを総合的に進めます。また、広域化に関しては、都道府県が国保財政の主体となることを踏まえ、大阪府や府内自治体の動向も把握し、スムーズに新制度に移行できるよう準備を進めます。

9 月末の進捗状況 【 ○ 】	<p>保険料収納率については、昨年の同時期と比べ、上回っている状況である。一般会計からの基準外繰入金については、昨年度に引き続いて当初での繰り入れは行わなかった。</p> <p>広域化に関しては現在、大阪府の調整状況を踏まえ、対応を検討している。</p>
--------------------	---

(6) 特定健康診査・特定保健指導を中核とする保健事業の推進	
目標	国民健康保険被保険者の健康寿命の延伸、医療費増加の抑制を図るため、生活習慣病の予防等を目的とした保健事業を計画的に推進し、特定健康診査の受診や特定保健指導の利用につなげます。
取り組み	<p>「第 3 期特定健康診査等実施計画」「第 2 期データヘルス計画」を策定し、PDCA サイクルに基づく事業展開を図ります。</p> <p>特定健康診査結果データから糖尿病性腎症のリスクの高い対象者を抽出し、希望者に 6 ヶ月間の専門的な保健指導プログラムを新たに提供することで、人工透析への移行防止等の重症化予防を図ります。</p> <p>生活習慣の改善によって予防効果が大きな 40 歳代の特定健康診査受診率の向上を図るため、診査対象前の 35 歳から 39 歳の国民健康保険被保険者を対象に、インターネットを活用した郵送型簡易健診を実施します。</p> <p>平成 29 年度当初予算：20,077 千円</p>

9 月末の進捗状況 【 ○ 】	<p>「第 3 期特定健康診査等実施計画」及び「第 2 期データヘルス計画」を現在策定している。</p> <p>「糖尿病性腎症重症化予防事業」については、10 月末からプログラムを開始する予定としている。</p> <p>「郵送型簡易健診」については、現在申し込みを受け付けている。</p>
--------------------	--

(7) 福祉医療費助成事業の運営

目標	誰もが心身ともに健康に暮らせるまちをめざし、医療費の一部を助成することで、子どもの健やかな育成や高齢者・障害者等の健康保持及び福祉の増進に努めます。
取り組み	大阪府において、福祉医療費助成制度の改正が進められていることから、その動向を注視し、適切に実施します。また、子ども医療費助成（高校生世代までの拡充への財源）を含めた枚方市医療費助成制度の課題整理を行います。

9月末の 進捗状況 【〇】

大阪府において、平成30年4月以降、持続可能な制度として制度改正が行われることに伴い、本市でもそれにあわせて、9月定例会議で条例改正を上程し、可決された。今後は円滑な制度実施に向けて、市民や関係機関等へ新たな助成制度の周知に努めていく。また、子ども医療費助成の年齢拡大等についても引き続き課題整理を行っていく。

(1) 保健医療・公衆衛生分野における災害対策

目標	近年の災害においては、保健医療・公衆衛生分野での対策の重要性が言われ、DMAT（災害派遣医療チーム）や DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）等、被災地支援・受援体制の構築が進められています。被災自治体においては、医療の提供に係るコーディネートをはじめ、被災者の健康面のフォローや衛生面の管理・監視等、保健所が担う役割は大きく、本市地域防災計画では、地域災害医療本部を保健所に設置するとしています。そこで、災害時において、保健所が中核となって、市域の保健医療・公衆衛生に関する活動に適切かつ円滑に取り組めるよう、体制の整備を図ります。
取り組み	関係機関等と連携し、災害対策に係る訓練を実施するとともに、マニュアルの検証・見直しに取り組みます。 平成 29 年度当初予算：400 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

政府における大規模地震時医療活動訓練にあわせ、地域災害医療本部訓練を実施し、マニュアルの検証を行ったほか、災害拠点病院等の関係機関との通信訓練や、市内病院と連携した EMIS 入力訓練等を行った。

(2) 薬物乱用防止啓発の推進

目標	平成 27 年 11 月に小学生が大麻を吸引するという事件が発生する等、若年層への薬物汚染が急速に広がり大きな社会問題となっており、青少年による薬物乱用の根絶及び規範意識の向上は重点課題となっています。 そこで、青少年・若年層に対して違法な薬物の危険性について正しい知識の普及をめざして啓発活動を行います。
取り組み	小学生・中学生を対象に薬物乱用防止教室に取り組む各団体と情報交換・情報共有を行うとともに、連携・協力体制の強化を図り、薬物乱用防止啓発活動を行います。 平成 29 年度当初予算：573 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

枚方市薬物乱用防止連絡会を開催したほか、薬物乱用防止教室講師紹介の要望があった市内小学校 2 件、中学校 1 件に対し、連絡会構成団体に所属する講師を紹介した。

(3) ヘルシーメニューの開発支援

目標	日々の生活の中で、栄養・食生活分野は、がん、心疾患、脳卒中、糖尿病等多くの生活習慣病との関連が深くなっています。一方、本市が実施したアンケート調査によると、外食への依存傾向がみられました。そこで、食を取り巻く環境の改善が食生活面からの個人の健康づくりにつながることから、飲食店に対して啓発を行い、ヘルシーメニューの提供を通じて健康づくりの推進を図ります。
取り組み	枚方市独自で設定する「ヘルシーメニュー基準」に基づき、ヘルシーメニューの開発及び提供を行います。市民が利用しやすいよう、冊子やリーフレットを作成し、広く周知を行います。
	平成 29 年度当初予算：1,789 千円

9 月末の 進捗状況 【○】

市内飲食店 26 店舗と、市独自の基準に基づき共同作成したヘルシーメニューを 8 月から提供。冊子・リーフレットを作成し、店舗を含む約 60 ヶ所に設置・配布を行うとともに、広報や地方紙などを通じて周知を行った。

(4) 食中毒など健康危機事象発生の未然防止

目標	安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や理美容所などの生活衛生施設における衛生水準の向上を図り、健康危機事象発生の未然防止をめざします。
取り組み	食の安全・安心への関心が一層高まる中、食品等事業者へ HACCP（ハサップ）による衛生管理の手法を普及・啓発し、食中毒などの健康危機事象発生の未然防止に努めます。
	平成 29 年度当初予算：15,159 千円

9 月末の 進捗状況 【○】

食品等事業者に対して講習会、窓口にて HACCP に基づく衛生管理の手法について普及・啓発し、導入を推奨するとともに、市民に対して健康関連イベント等で HACCP による衛生管理を広く周知した。

(5) こころの健康づくりの推進

目標	身近に個々の相談ができる体制づくりや、疾患の初期段階から適切な相談や支援につなげるためのネットワークづくりを行うことでこころの健康づくりの推進を図ります。
----	---

取り 組み	専用電話による「こころの健康相談」及び、モバイル機器を活用したメンタルチェックシステム「こころの体温計」、精神保健講演会等を通して、こころの健康づくりの啓発に努めます。また、関係機関との連携や精神科医師による相談等を通じ、相談や支援を行うとともに、疾患の初期段階から適切な相談や支援につなげるためのネットワークづくりを行います。
	平成 29 年度当初予算：3,788 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	専用電話による「こころの健康相談」、メンタルチェックシステム「こころの体温計」、精神保健講演会を通じてこころの健康づくりの啓発を行った。「こころの健康相談」相談件数は延べ 275 件、「こころの体温計」についてはアクセス数が 18,653 件であった。精神保健講演会は、2 回開催。市民や関係機関職員 52 名が参加した。
----------------------	---

(6) 難病対策の推進	
目標	難病患者やその家族が地域で安心して過ごせる在宅療養環境を整備します。
取り 組み	健康医療都市ひらかたコンソーシアム参画団体で構成する枚方市難病対策分野神経難病対策医療ネットワーク部会を通して、関係団体と情報を共有し、在宅難病患者が抱える地域医療の課題に取り組みます。
	平成 29 年度当初予算：6,567 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	難病患者を含む在宅医療の推進を図るため、市内病院を対象に平成 28 年度部会発行の「在宅医療資源集」「訪問看護資源集」活用状況に関する調査を実施した。
----------------------	---

(7) 妊産婦への支援の拡充について	
目標	安心して楽しく子育てできるまちの実現に向け、妊娠・出産から子育て期にわたる切れ目のない支援策を充実させます。
取り 組み	産後うつや新生児への虐待予防等を図る観点から産婦健康診査にかかる費用を助成し、健診の結果、支援が必要な母子への心身のケアや育児サポート等を行います。また、妊娠届出時に交付する母子健康手帳のデザインを 4 種類準備し、妊婦やその家族が好きなデザインから選べるようにします。
	平成 29 年度当初予算：19,585 千円

<p>9 月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>特定不妊治療費の助成を 107 件（内、初回申請 46 件と男性不妊治療あり 1 件）実施した。不育症治療費の助成を 6 件実施した。選べる母子健康手帳の交付は、4 月より開始し、好評を得ている。産婦健康診査にかかる費用助成を 10 月 1 日以降出産の産婦から開始予定。</p>
-------------------------------	---

（8）市民の健康を支える地域拠点の整備	
目標	赤ちゃんから高齢者までが健康で生き生きと暮らすことができるまち、安心して子育てできるまちづくりをめざします。
取り組み	より身近な地域で市民が気軽に相談でき、妊娠・出産から子育て期、さらには成人・高齢期までの切れ目のない支援を行うことができる地域拠点を、北部支所内に整備します。
	平成 29 年度当初予算：12,658 千円

<p>9 月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>平成 29 年 12 月開設に向けて準備を進めている。</p>
-------------------------------	------------------------------------

（9）各種がん検診の推進	
目標	がんを早期発見し、適切な治療に結びつけられるよう、引き続き、各種がん検診について受診率向上や精度管理の取り組みを進めます。
取り組み	無料クーポン券の送付や、がん検診受診率アップキャンペーンの取り組みを継続するとともに、若年層での発症リスクが高い子宮頸がん検診については、国立がん研究センターが受診を促すためにマーケティングの考え方に基づいて作成された受診勧奨圧着はがきを送付します。また、平成 29 年 4 月から 50 歳以上の市民を対象に胃がん検診内視鏡検査を開始します。
	平成 29 年度当初予算：444,787 千円

<p>9 月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>4 月から胃がん検診内視鏡検査を開始し、23 医療機関で受診できる体制となった。6 月末に、子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券を送付、9 月上旬に、国立がん研究センターが受診を促すためにマーケティングの考え方に基づいて作成された子宮頸がん検診受診勧奨圧着はがきを送付した。がん検診受診率アップキャンペーンの取り組みを引き続き実施し、がん検診受診率 50% 達成に向けた集中キャンペーン月間である 10 月には乳幼児健康診査などでがん検診の周知を行う。</p>
-------------------------------	---

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施

目標	適切な生活支援と介護予防を一体的に提供することで、高齢者が住み慣れた地域で安心して生き生きと生活できる環境づくりを進めます。
取り組み	要支援認定者など軽度の高齢者の心身の機能を引き上げ、要介護への移行を防止するため、リハビリテーション専門職等を活用した市独自の生活支援サービスを開始します。また、地域にご協力をお願いし、身近な場所での介護予防拠点の整備や、介護予防ポイント事業の拡充など、高齢者の社会参加を促進し支える体制づくりに取り組めます。
	平成 29 年度当初予算：811,567 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

要支援認定高齢者を対象とした市独自介護予防・生活支援サービスを開始し、適切なケアマネジメントにより徐々に普及を図っている。また、高齢者が安心して生き生きと暮らせる地域づくりを進めている。

(2) 認知症施策の推進

目標	認知症高齢者が地域の中で尊厳を持ち、できる限り自立した生活を送ることができるよう、認知症に対する正しい知識を普及するとともに、ニーズに沿った支援と権利擁護の取り組みを進めます。
取り組み	認知症サポーターの養成を継続し、認知症への理解を深めるとともに、認知症初期集中支援チームの活用、認知症カフェへの支援等の施策を実施します。また、市民後見制度の整備等を通して、権利擁護の取り組みを拡充します。
	平成 29 年度当初予算：13,855 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

認知症への理解を深めるための取り組みを継続するとともに、初期集中支援チームの活用を図っている。また、昨年度に引き続き、市民後見人の養成を進めている。

(3) 在宅医療・介護連携の推進

目標	高齢化の進行に伴い、慢性的な疾病を抱えた高齢者の増加が見込まれます。医療と介護の円滑な相互連携を図り、高齢者が安心して在宅生活を送ることができる環境整備をめざします。
----	---

<p>取 組 み</p>	<p>医療・介護の関係者で構成する「地域ケア推進実務者連絡協議会」等の連携体制を活用しながら、多職種連携の研修など相互理解の取り組みを進めていきます。また、それぞれの地域の特性を勘案しつつ、医療・介護関係者、地域住民、行政機関等で構成する地域ケア会議を開催し、地域の課題に対応していきます。</p>
	<p>平成 29 年度当初予算：4,545 千円</p>

<p>9 月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>地域ケア推進実務者連絡協議会や地域ケア会議の開催等を通して、医療・介護を要する高齢者の在宅生活を支えるためのネットワーク構築に継続的に取り組んでいる。</p>
-------------------------------	--

(1) 地域福祉の推進

目標	あらゆる世代の人が健やかに生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めるために、多様化・複雑化する生活課題を抱える人への支援体制の充実や環境整備、不足する地域福祉活動の担い手の育成支援など、地域福祉の推進に取り組みます。
取り組み	地域福祉計画（第3期）に基づき、地域福祉課題の把握に向けた取り組みを行うとともに、計画の進行管理を行います。

9 月末の
進捗状況
【○】

平成 29 年 7 月 28 日に地域福祉専門分科会を開催し、平成 28 年度の地域福祉計画関連事業の実施状況等について報告した。また、平成 27 年 3 月策定の「枚方市地域福祉計画（第3期）」の進行管理を行うため、地域福祉にかかるセミナーを社会福祉協議会と連携して年度内に開催する予定である。

(2) 臨時福祉給付金（経済対策分）の円滑な支給

目標	臨時福祉給付金（経済対策分）は、社会全体の所得の底上げに寄与することを目的に、平成 29 年 4 月から平成 31 年 9 月までの 2 年半分、支給対象者一人当たり 1 万 5 千円が支給されます。この給付金について、支給対象見込み者への周知に努めるとともに、円滑かつ迅速な支給事務を行います。
取り組み	給付金の支給対象者や支給額、申請期間等について市民に分かりやすく案内するとともに、あわせて、校区コミュニティ協議会や民生委員児童委員協議会などの関係機関への情報提供と周知のための協力依頼を行い、申請率の向上に努めます。

9 月末の
進捗状況
【○】

臨時福祉給付金（経済対策分）は、平成 29 年 4 月 10 日から平成 29 年 10 月 10 日まで申請を受け付けており、申請率は、平成 29 年 9 月末時点で 80.6%となっている。

(3) 保護受給者の自立促進

目標	稼働能力を有しながら様々な要因により就労に至っていない保護受給者に対して、就労意欲の喚起やきめ細かな助言・指導を行い、就労に結びつけることで自立を促進していきます。また、就労に向けた準備が整っていない保護受給者に対しては、日常生活自立、社会的自立に向けた支援を行います。
取り組み	就労準備支援事業や就労支援事業への参加促進を図るとともに、ハローワーク常設窓口等とも連携し、各段階におけるきめ細やかで重層的な支援を提供することで、自立を支援します。

平成 29 年度当初予算：25,159 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	就労支援事業の参加者数（9 月末時点）123 名 うち就職決定者 77 名 就労準備支援事業の参加者数（9 月末時点）41 名 うち就職決定者 4 名 ハローワーク常設窓口とも連携して、自立に向けた支援を行った。
----------------------	--

（４）日中一時支援事業の拡充	
目標	障害者（児）の日中活動の場を確保するとともに、家族の就労支援や一時的な休息を目的とする日中一時支援事業について、平成 29 年度より対象年齢の拡大、事業報酬制度等の見直しを行い、利用促進を図ります。
取り組み	平成 29 年度から、報酬単価の見直しを行うほか、小学 1 年生から利用できるよう対象年齢を拡大、また、これまでの指定障害福祉サービス事業所のほか、指定障害児通所支援事業者についても対象事業所要件に加え、新規参入事業者の促進を図ることにより、利用の要望が高かった 18 歳以上の日中系事業所を利用する方の夕方の短時間の居場所としても、日中一時支援事業を活用していただけるよう制度を整備します。
平成 29 年度当初予算：14,749 千円	

9 月末の 進捗状況 【○】	前年度の当月末と比較し、延べ利用件数が約 350 件増加しており、サービスの利用が伸びている。また、これまでに市内 1 事業者の新規参入があり、事業所数も増えている。
----------------------	---

（５）障害者グループホームの安全対策（スプリンクラー等の設置助成）	
目標	消防法の改正に伴い、平成 30 年 3 月までにスプリンクラー等の設備の設置が義務付けられた事業所に対し、市の補助制度等を活用して期限内に整備を実施するよう促すとともに、関係機関に対して働きかけを行います。
取り組み	施設整備が義務付けられたグループホームに対し、期限内に施設整備を行い、安全に地域で暮らすことができるよう、平成 28 年度より市独自の補助事業を実施しています。平成 29 年度末が設置期限となるため、大阪府が策定するガイドラインを基に事業所、関係機関に対し働きかけを行っていきます。
平成 29 年度当初予算：4,800 千円	

9 月末の 進捗状況 【○】	現時点で補助事業の利用申請はないが、関係機関に働きかけを行い、平成 29 年度末の設置期限に向け、整備を実施するよう促している。
----------------------	--

(6) 枚方市障害福祉計画（第5期）・枚方市障害児福祉計画（第1期）の策定

目標	障害者総合支援法に基づく枚方市障害福祉計画（第4期）が平成29年度に終了するため、新たに枚方市障害福祉計画（第5期）を策定するとともに、枚方市障害児福祉計画（第1期）を枚方市障害福祉計画と一体的に策定し、障害福祉施策の推進に努めます。
取り組み	障害福祉サービス等の見込み量や整備の方向を定めた枚方市障害福祉計画（第4期）が平成29年度に終了するため、新たに、平成30年度から3年間の計画期間とする枚方市障害福祉計画（第5期）を、ニーズ調査等も実施して策定します。また、障害児のサービス提供体制の整備を計画的に行うため、枚方市障害児福祉計画（第1期）を枚方市障害福祉計画（第5期）と一体的に策定します。
	平成29年度当初予算：4,800千円

**9月末の
進捗状況
【○】**

当事者等に対するアンケート調査を実施したほか、枚方市社会福祉審議会障害福祉専門分科会を開催し、専門的な見地から意見を聴取する等、枚方市障害福祉計画（第5期）及び枚方市障害児福祉計画（第1期）の策定に向け、審議を進めている。

(7) 精神障害者保健福祉手帳交付事務の権限移譲

目標	精神障害者保健福祉手帳について、市民の利便性の向上を図るため、大阪府より権限移譲を受け、平成29年7月より本市で手帳の発行、交付を行います。
取り組み	大阪府より、精神障害者保健福祉手帳交付事務の権限移譲を受け、平成29年7月より本市で手帳の発行、交付を行います。診断書による手帳の等級判定は、従来通り大阪府に依頼しますが、年金証書による手帳の等級判定は本市が年金事務所に直接照会し手帳を発行することで、申請から交付までの期間を短縮し、市民の利便性の向上を図ります。
	平成29年度当初予算：6,802千円

**9月末の
進捗状況
【○】**

本年7月の権限移譲後、現在までに計463件（新規107件、更新343件、転入13件）の精神障害者保健福祉手帳を発行している。年金証書で申請した場合、申請から発行まで、従来、2ヶ月程度時間を要していたが、権限移譲後は1ヶ月半程度で手帳を発行している。また、同様に、紛失や転入による再発行の場合においても、従来1ヶ月程度期間を要していたのが、2週間程度で手帳を発行できるため、同様に申請から交付までの期間が短縮している。

(8) 社会福祉法等の改正への的確な対応

目標	平成 29 年度の大幅な社会福祉法人制度改革や障害福祉サービスの省令改正に対して的確に対応するとともに、平成 30 年度に行われる介護保険事業及び障害福祉事業の報酬改定に円滑な対応ができるよう、福祉関連法人への情報発信に取り組みます。また、新たな制度内容を指導監督業務に反映させ、福祉施設等の適正な管理と安定的な運営体制の確保につなげることで、福祉サービスの質の向上を図ります。
取り組み	社会福祉法人制度の大幅改革による、法人運営における透明性の確保のための新たな国のシステムや省令等に対応し、法人説明会など様々な媒体を通じて社会福祉法人等への情報発信を行うとともに、介護保険・障害福祉サービス事業の報酬改定などに的確に対応するため、国等からの情報収集に努めます。 また、障害福祉サービスにおける新たな基準については、指導監査業務等に反映し、事業者の適切なサービス提供につなげます。

9 月末の 進捗状況 【○】	社会福祉法人・施設指導監査説明会や介護保険・障害福祉サービス事業者集団指導を開催し、大幅な社会福祉法人制度改革や各サービスにおける指定基準の改正などについて情報提供を行った。また、実地指導などを通じて個別にも指導・助言を行っている。 平成 30 年度に行われる介護保険及び障害福祉の制度改革などに円滑な対応ができるよう、国・府による説明会などにおいて情報収集に努め、適時ホームページなどにより情報発信に取り組んでいる。
----------------------	--

(1) 子ども・若者の課題対策の充実

目標	子どもの貧困問題など、子どもを取り巻く様々な課題に対応するため、子どもの生活に関する実態調査の結果等を踏まえ、子ども・若者の課題対策の充実を図ります。
取り組み	<p>昨年実施した子どもの生活に関する実態調査の結果等を踏まえ、子ども食堂の取り組みの拡大を図るとともに、子どもの貧困など子どもを取り巻く様々な課題に対し、効果的な支援策の検討を進めます。</p> <p>ひきこもりなど複合的な困難を抱える子ども・若者を支援するため、関係機関のネットワーク組織である「子ども・若者支援地域協議会」を設置するとともに、策定されてから5年目になる「子ども・若者育成計画」の改定に取り組みます。</p> <p>妊娠・出産、子育て期に加え、結婚期も含めた切れ目のない支援を行うため、市内に居住する新婚夫婦への支援として、住宅の購入費用や賃借費用、引越費用に対する助成制度を開始します。</p>
	平成 29 年度当初予算：35,574 千円

9 月末の
進捗状況

【〇】

子どもの生活に関する実態調査の結果等を踏まえ、課題を抱える子どもやその家庭に対し、福祉等の支援制度の情報提供や支援機関へのつなぎなど、福祉と教育の連携により早期に適切な支援が行えるよう、「子どもの未来応援コーディネーター」(2名)を配置するため、9月定例会議会で予算措置を行い、11月から配置することとした。子ども食堂については、7月より新たに3団体が加わり、9月末時点で全14団体(16ヶ所)が本市の補助金を活用しながら取り組んでいる。

「子ども・若者支援地域協議会」の設置については、8月の厚生委員協議会で説明を行い、平成30年3月設置に向けての準備を進めている。「子ども・若者育成計画」の改定については、6月に青少年問題協議会に諮問し、審議いただくなど、改定作業を進めている。

市内に居住する新婚夫婦への住宅の購入費用や賃借費用、引越費用に対する助成については、9月末時点で12組に対して交付した。

(2) 待機児童対策の推進	
目標	安心して子育てと仕事を両立できるよう、いわゆる潜在的な待機児童も含めた通年での待機児童の解消に向け、平成31年度当初までに500人の入所枠の拡大を目指します。
取り組み	待機児童の解消に向けて、私立保育園及び認定こども園による増改築や、分園設置等を行い、定員増を図ります。また、私立幼稚園から認定こども園への移行支援や、小規模保育事業の開設及び公立保育所の民営化などによる定員増の取り組みを進めるとともに、不足する保育士の確保策として、保育士用住居の借り上げ費用の支援等を行います。その他、私立幼稚園で実施されている預かり保育を充実させることにより、いわゆる潜在的待機児童も含めた通年での待機児童の解消に努めます。
	平成29年度当初予算：1,193,653千円

9月末の進捗状況【〇】	4月当初に旧枚方区検察庁舎施設を活用したおおがいと小規模保育実施施設を定員19人で開設するとともに、認可外保育施設3園での小規模保育事業の実施により34人分の定員増を行ったほか、私立幼稚園の幼稚園型認定こども園への移行により計73人分の定員増を行った。また、7月に北部支所のスペースを活用し、楠葉なみき小規模保育事業実施施設を定員19人で開設、9月には幼保連携型認定こども園で20人の定員増を行った。さらに、年度途中の受け入れを図るため保育所等に保育士雇用のための補助金を交付し受入枠の拡大を図った。10月には私立保育所分園設置により20人の定員増を行うとともに、市立幼稚園の余裕保育室を活用した小規模保育事業の実施に取り組んでいく。そのほか、走谷保育所の民営化に向け、9月に運営法人選定審査会を開催し、10月に運営法人を募集する。また、私立幼稚園における預かり保育の充実を図るため補助要綱を制定予定。さらに、保育士確保のために保育士用住居の借り上げ費用の補助について、実施意向のある保育所へ順次対応している。
-------------	---

(3) 保育サービスの充実	
目標	保育ニーズがますます多様化、複雑化する中、病児保育の利便性の向上やひとり親世帯等の保育料軽減等により、保育サービスの充実を図ります。
取り組み	枚方市病児保育室の利用申込の受付時間等を拡充するなど利便性の向上を図るとともに、国の制度に基づきひとり親世帯等に対して保育所や幼稚園等における保育料を軽減します。 また、保育所等への送迎や預かりなどの支援を受けられるファミリーサポートセンター事業について無償で体験できる仕組みづくりに取り組むことで、子育ての負担感や不安感の軽減を図るとともに、子育て世代の市民が必要とする情報を的確なタイミングで得られるよう、スマートフォンの機能を活用したアプリを配信し、安心して楽しく子育てできる環境整備を進めます。

平成 29 年度当初予算：16,088 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

平成 29 年 4 月より、枚方市病児保育室の利便性の向上を図るために、利用申込の受付時間等を拡充するとともに、国の制度に基づきひとり親世帯等に対して保育所や幼稚園等における保育料の軽減を実施した。
また、ファミリーサポートセンター事業の無料体験について、年度内の実施に向けて事業内容等を検討中。スマートフォンの機能を活用したアプリについて、9 月に事業者と契約を締結し、年度内の運用開始に向けてシステム構築を進めている。

(4) 新児童発達支援センターの整備

目標

整備予定地である元第四学校給食共同調理場跡地において、平成 31 年度の開設に向けて新たな児童発達支援センターを整備します。

取り組み

知的障害児通園施設のすぎの木園と肢体不自由児通園施設の幼児療育園が抱える老朽化への対応や施設機能の充実などを図るため、両施設の機能を統合した「(仮称)枚方市立児童発達支援センター」について、整備に係る設計完了後、工事に着手します(平成 31 年度開設予定)。

平成 29 年度当初予算：45,076 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

(仮称)枚方市立児童発達支援センター整備計画に基づき、平成 28 年 6 月から取り組んでいた、建設にかかる基本設計・実施設計委託を平成 29 年 7 月に完了し、平成 29 年 9 月に工事発注を行った。

(5) 子ども総合相談センター「となとな」における相談支援の充実

目標

家庭児童相談やひとり親家庭等自立相談、子ども・若者のひきこもりなど、多様化・複雑化する相談に総合的に対応する、子ども総合相談センター「となとな」における相談支援の充実を図ります。

取り組み

総合相談としてセンター内での連携に加え、関係部署や関係機関と連携を行い、相談支援の強化を図ります。

相談においては、面接技法やアセスメントなど様々な専門的技術等の獲得に向け、学識者や精神科医などから系統的に研修を受講できるよう取り組みます。また、改正児童福祉法において要保護児童対策調整機関に置かれた調整担当者には厚生労働大臣が定める基準に適合する研修が義務付けされたことを受け、職員の資質向上を図るため、適宜、研修を受講できるよう取り組みます。

平成 29 年度当初予算：1,063 千円

9月末の
進捗状況
【〇】

専門相談員研修については、年間計画に従い実施している。
児童福祉法の改正に伴う調整担当者研修については、大阪府が主催して6月から9月にかけて9日間開催され、本市からは4名が受講した。
また、9月には、子ども総合相談センターを児童福祉法改正によって設置努力義務が課された「子ども家庭総合支援拠点」として位置づけた。これにより、支援拠点の運営にあたり、国の補助金の活用が可能となるなど、子どもに関する相談のさらなる充実をめざす。

(1) 可燃ごみ広域処理施設の整備

目標	平成 28 年 5 月に設立した枚方京田辺環境施設組合において、同組合による可燃ごみ広域処理施設の整備を進めます。
取り組み	枚方京田辺環境施設組合による環境影響評価の実施など、京田辺市と連携しながら、可燃ごみ広域処理施設の円滑な整備に向け、取り組みを進めます。 平成 29 年度当初予算：110,379 千円

9 月末の
進捗状況

【○】

枚方京田辺環境施設組合において環境影響評価（環境アセスメント）の手続きを順次進めている。
計画段階環境配慮書について 8 月 17 日付けで京都府知事の意見が付された。

(2) 地球温暖化対策の推進とごみ減量の取り組み

目標	地球温暖化対策実行計画を改定し、市民・市民団体・事業者・行政の各主体による再生可能エネルギーの利用拡大や省エネルギー・省 CO ₂ 活動、4R の普及・啓発によるごみの減量・リサイクルなどの取り組みを推進することにより、市域で排出される温室効果ガスの削減を図ります。
取り組み	「枚方市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定作業を進めるとともに、「枚方市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」の次期計画を策定します。また、環境にやさしいライフスタイルへの転換やペットボトル・プラスチック製容器包装、紙類等のごみの資源化を促進するため、引き続き情報発信・啓発活動等に取り組みます。 平成 29 年度当初予算：272,054 千円

9 月末の
進捗状況

【○】

枚方市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定について、環境審議会へ諮問を行い、8 月に専門的な視点による検討を行う地球温暖化対策実行計画検討部会を開催した。また、枚方市地球温暖化対策協議会と連携し、エコライフキャンペーン、ライトダウンキャンペーンや緑のカーテンコンテストなどの普及・啓発活動を実施した。さらに、広報ひらかたや市ホームページ等による情報発信を始め、市内小学校全校にごみカレンダーを配布するなど、ごみ減量に関する啓発を行うとともに、6 月から出張回収品目に紙とおもちゃ（主に製品プラのリユース目的）を加えて、リサイクルなどの取り組みを実施した。

(3) 空き家・空き地対策の推進

目標	管理不良な空き家・空き地の所有者等に対し、適切な指導等を行うとともに、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく枚方市空家等対策計画を策定し、本市における総合的な空家等対策に取り組みます。
取り組み	枚方市空家等及び空き地等の対策に関する条例を平成 29 年 4 月より施行し、空き家と同様に管理不良な空き地等に対する指導等を行います。また、法に基づく空家等対策計画を策定します。
	平成 29 年度当初予算：10,149 千円

9 月末の 進捗状況 【○】

法や条例に基づき、管理不良な空き家や空き地に対する指導を行った。相談件数は 9 月末現在で 229 件（空き家 127 件、空き地 102 件）。また、空家等対策計画の策定に向けて、計画（案）のパブリックコメントを実施した。

(4) 淀川衛生工場し尿処理施設の整備

目標	淀川衛生工場の処理設備の老朽化や公共下水道の普及に伴うし尿等の処理量の減少に対応し、効率的・効果的な処理を行うため、平成 29 年度中にし尿等の希釈放流を開始します。
取り組み	し尿等の希釈放流の開始に向けた施設の改造工事を行います。
	平成 29 年度当初予算：357,000 千円

9 月末の 進捗状況 【○】

平成 29 年 12 月末の希釈放流開始に向け、工事施工中。

(5) 市民との協働による環境施策の推進

目標	第 6 回目となる市民参加型の枚方市自然環境調査を実施するとともに、アダプトプログラムを推進させることで、市民の環境への関心と理解を深め、市域の環境保全に取り組めます。
取り組み	平成 30 年度にかけて市民参加による自然環境調査を実施するとともに、市民との協働によりアダプトプログラム実施団体による美化活動の支援を継続し、環境保全に対する市民の理解と関心を深めます。
	平成 29 年度当初予算：9,233 千円

9月末の
進捗状況
【○】

枚方市自然環境調査の実施に向け、広報で調査員を募集し、8月に調査員に対して説明会を開催した。調査は10月から平成30年10月頃にかけて実施する予定。また、引き続きアダプトプログラム実施団体への支援を行い、環境保全に対する市民の理解と関心を深めた。実施団体数は1団体増え、61団体となった。

(1) 人が集まるまちづくりの取り組み

目標	空き家・空き地の適切な管理を促進し、その活用等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「枚方市空家等対策計画」を策定し、空き家等対策に取り組みます。また、市外に住む子育て世帯や若年夫婦世帯が、市内在住の親世帯と同居・近居するための住宅リフォームまたは住宅購入に対する助成や、マイホーム借上げ制度の周知・普及により、高齢者の持ち家を子育て世帯等へ転貸することで空き家化を防ぐとともに、若年世代の市内転入など定住促進を図ります。
取り組み	枚方市空家等対策計画については、枚方市空家等対策協議会の意見を聴きながら策定を進めるとともに、空き家等の有効活用に向けた取り組みを推進するため、空き家所有者に対し活用などについて意向調査を行い、所有者と自治会など地域の公共的課題の解決に取り組む団体等とのマッチングなどを行います。 三世代家族・定住促進事業については、同居のための持ち家のリフォーム費用や同居・近居のための住宅取得費用に対して助成を行います。また、高齢者世帯や子育て世帯等が、それぞれの生活に合った住宅への住みかえを支援するため、関係機関等との連携により、マイホーム借上げ制度の周知・普及に努めます。
	平成 29 年度当初予算：5,040 千円【空き家・空き地対策推進事業関連】、12,720 千円【三世代家族・定住促進事業関連】

9 月末の
進捗状況
【〇】

枚方市空家等対策計画の策定に向けて、枚方市空家等対策協議会より計画案について答申を受け、また、計画案に関するパブリックコメントを実施した。三世代家族・定住促進事業について 29 件の助成を行い、さらに住宅金融支援機構との協定を締結することで事業の促進を図り、マイホーム借上げ制度については、制度説明会および個別相談会を各 1 回開催した。

(2) (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備や公共建築物の整備・保全

目標	平成 32 年度の完成をめざして (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備に取り組むとともに、その他計画的な公共施設の整備・保全に取り組みます。 ～ (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備のイメージ～ 
----	--

取 組 み	<p>本市の中心市街地である枚方市駅周辺の再整備として、文化芸術の拠点施設となる(仮称)枚方市総合文化芸術センターの平成32年度完成に向け、実施設計や工事に必要な諸手続きを進めます。</p> <p>また、枚方保育所の建替えについては年内の完成をめざすとともに、香里ヶ丘図書館の建替えは、プロポーザル方式により設計事業者を選定のうえ、隣接する香里ヶ丘中央公園の再整備と一体的な設計に着手します。さらに、新児童発達支援センターの整備に向け設計を完了し、引き続き、建築工事に着手します。</p> <p>市有建築物の維持保全については、市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき財政負担の平準化を図りながら、計画的な改修・更新工事を進めます。</p>
	<p>平成29年度当初予算：166,288千円【(仮称)枚方市総合文化芸術センター整備関連】、 1,636,093千円【公共建築物の整備・保全関連】</p>

9月 末の 進捗 状況 【○】	<p>(仮称)枚方市総合文化芸術センターについては、平成30年度の工事着手に向け、実施設計と並行し整備に必要な手続きを進めている状況である。</p> <p>枚方保育所の建替えについては、年内の完成をめざし順調に工事を進めている。また、香里ヶ丘図書館の建替えについては、プロポーザル方式で選定された設計事業者と契約締結し、隣接する香里ヶ丘中央公園と一体的な整備をめざし設計に着手した。さらに、新児童発達支援センターは設計が完了し、今年度末の工事着手に向け、入札手続きを進めている。</p> <p>また、市有建築物の維持保全については、当該計画に基づき今年度の予定工事に順次着工(26件)するとともに、次年度の工事に向けた設計業務にも着手している。</p>
-----------------------------	--

(3) 京阪本線連続立体交差事業と新たなまちづくり	
目 標	<p>枚方公園駅付近から香里園駅付近(寝屋川市)までの延長約5.5キロメートル(うち枚方市域約3.4キロメートル)の鉄道高架の完成目標を平成40年度とし、平成31年度から工事に着手できるよう事業用地の取得に取り組んでいきます。あわせて、光善寺駅周辺については(仮称)光善寺駅西地区市街地再開発準備組合とともに市街地再開発事業による新たなまちづくりを進めます。</p>
	<p>～高架後の光善寺駅前広場のイメージ～</p> 

取り 組み	できる限り早期に鉄道高架の工事に着手できるよう、計画的かつ効率的に事業用地の取得を進めます。また、駅前にふさわしいまちづくりを進めるため、(仮称)光善寺駅西地区市街地再開発準備組合の活動に対する技術的支援を行うとともに、都市再開発の方針や用途地域など関連する都市計画の変更を行います。
	平成 29 年度当初予算：3,772,201 千円

9 月末の 進捗状況 【〇】	<p>今年度の事業用地の取得については、大阪府からの配当額による取得予定面積の 47%にあたる約 2,430 m²を取得している。</p> <p>また、光善寺駅周辺に関しては市街地再開発事業によるまちづくりを進めるため、市街地再開発準備組合に対し技術的支援を行うとともに、都市再開発の方針や第一種市街地再開発事業、その他用途地域などの関連する都市計画の決定・変更に向けた説明会等を行った。</p>
----------------------	---

(4) 木造住宅の耐震化の促進	
目標	木造住宅の耐震化を促進し、大地震時の被害軽減に努めます。
取り 組み	簡易改修や部分改修を対象とした、新たな耐震補助制度の周知・活用を図ります。旧耐震基準により建てられた木造住宅が集積する地区においては、重点的に啓発等の取り組みを行います。
	平成 29 年度当初予算：62,875 千円

9 月末の 進捗状況 【〇】	<p>4 月より、簡易・部分改修を対象に加えた補助制度の周知・運用を進めている(9 月末の交付決定戸数は、診断 60 戸、設計 36 戸、改修 36 戸。当初予算に対する執行率は 55%)。また、6 月に旧耐震木造住宅の集積する地区(新之栄町)で、自治会等と連携し重点的な耐震化の啓発を行った。</p>
----------------------	---

(1) 枚方市総合交通計画の策定

目標	本市の将来都市像の実現を図る観点から、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ計画的な交通施策として、「枚方市総合交通計画」の策定に向けた取り組みを進めます。
取り組み	市民や各交通関係機関が参画する協議会を適宜開催し、必要となる施策や事業、また推進体制等について議論を行い、平成 29 年度末に計画を策定します。 平成 29 年度当初予算：12,375 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

第 4 回枚方市総合交通計画協議会を開催し、計画において必要となる施策や事業の洗い出しを行った。また、それらに関係する事業者との協議を適宜進めている。

(2) 都市計画道路整備事業

目標	都市基盤として安全・快適で活力を生む道路交通網の整備に取り組みます。
取り組み	本市の道路ネットワークの軸となる都市計画道路については、安全で円滑な交通環境を構築するため、新名神高速道路や第二京阪道路へアクセスする牧野長尾線や長尾杉線、さらに緊急時の避難経路や輸送経路、また、安全な歩行空間の確保に繋がる御殿山小倉線や中振交野線の整備を計画的に進めます。新名神高速道路並びにアクセス道路となる内里高野道線及び淀川を渡河する牧野高槻線については、事業者に対して周辺環境に十分配慮した道路として整備されるよう働きかけを行い、早期完成に向け取り組みます。 平成 29 年度当初予算：2,134,884 千円（都市計画道路整備事業）

9 月末の
進捗状況
【○】

都市計画道路について、牧野長尾線は、鉄道との交差部の架道橋新設工事を実施しており、長尾杉線については、杉工区の詳細設計及び用地測量に着手し、用地測量に係る地元説明会を開催した。
中振交野線及び御殿山小倉線については、今年度実施区間の工事着手、また、用地の買戻しを行った。
新名神高速道路並びにアクセス道路となる内里高野道線及び淀川を渡河する牧野高槻線については、事業者に対し周辺環境に十分配慮した道路として着実に整備されるよう働きかけを行っている。

(3) 市内主要駅周辺の交通環境の改善

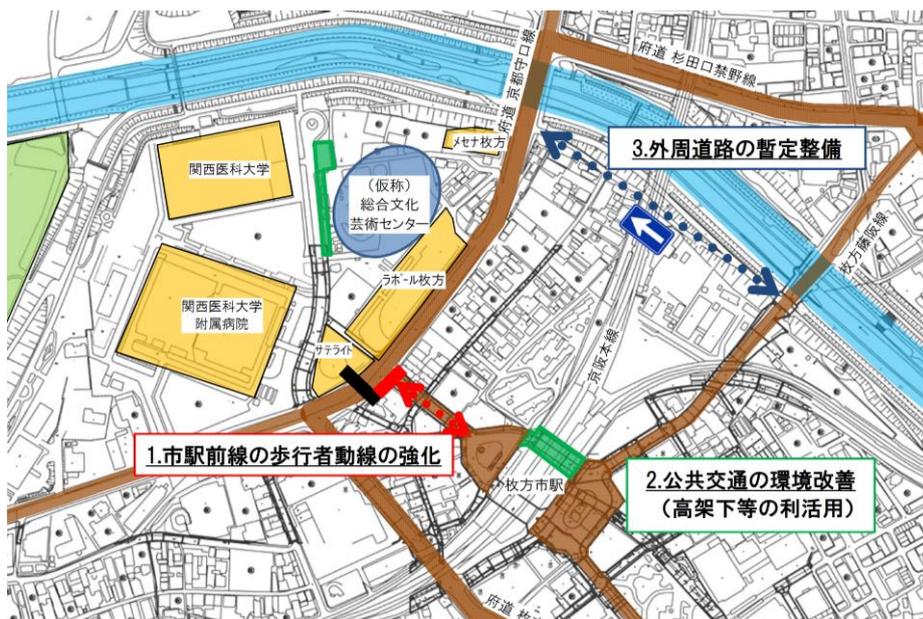
目標

市内主要駅（枚方市駅、御殿山駅、樟葉駅）周辺の交通混雑や公共交通の利用環境、また、安全・安心な歩行空間など、交通環境の改善に向け取り組みます。

取り組み

枚方市駅周辺については、枚方市駅周辺再整備ビジョンの将来像を見据え、引き続き、（仮称）総合文化芸術センターへの歩行者動線の強化や駅高架下道路等を活用したバスを中心とする公共交通の環境改善、また、天野川に沿った外周道路の暫定整備に向けた検討を進めます。

《枚方市駅周辺の交通に係る取り組み箇所図》



樟葉駅周辺については、駅前ロータリーの交通環境の改善に向けた整備に係る基本設計に着手し、また、御殿山駅周辺については、御殿山踏切の安全対策など歩行者や駅利用者の安全・安心な歩行空間の確保に向け、関係機関との協議を進めます。

平成 29 年度当初予算：5,000 千円（樟葉駅前ロータリー渋滞解消計画策定・推進事業）

9 月末の
進捗状況
【〇】

（仮称）総合文化芸術センターへの歩行者動線の強化や枚方市駅周辺の公共交通の環境改善、また、天野川に沿った外周道路の暫定整備に向けた詳細設計及び用地測量を実施しており、交通管理者や河川管理者など、関係機関との協議を行っている。樟葉駅周辺については、委託業務を発注し基本設計に着手している。また、御殿山駅周辺については、検討素案の作成に向けて関係機関との意見交換会を開催した。

(4) 安全・安心な交通環境の創出	
目標	安全・安心な交通環境の創出を図るため、通学路の安全対策や自転車通行空間の創出に向け取り組みます。
取り組み	通学路等の安全対策としては、安全な歩行空間の確保を図るため、「通学路交通安全プログラム」に基づき、第一藤阪踏切や中宮第2号線の拡幅工事、また、尊延寺狭戸線、磯島第4号線他の歩道整備を進めるとともに、引き続き藤阪駅周辺の歩道のバリアフリー化工事を進めます。あわせて、段差が大きい歩道の改良に向けた検討を行います。また、(仮称)枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画を策定するとともに、安全で快適な自転車通行空間の確保に向けた実施設計に着手します。
	平成29年度当初予算：36,477千円(中宮第2号線拡幅事業)、6,500千円(尊延寺狭戸線歩道設置事業)、21,000千円(磯島第4号線他歩道整備事業)、18,000千円(交通バリアフリー道路整備事業)、19,100千円(踏切道交通安全対策事業)、8,100千円(自転車通行空間整備事業)

9月末の進捗状況【〇】	第一藤阪踏切については、用地取得完了区間の工事発注を予定。中宮第2号線拡幅事業、尊延寺狭戸線歩道設置事業及び交通バリアフリー道路整備事業については、工事を発注し、着手している。自転車通行空間整備事業及び磯島第4号線他道路整備事業については、委託業務を発注し設計に着手している。 「枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画」については、パブリックコメントを経て7月に策定した。
-------------	---

(5) 道路・公園等の効率的・効果的な維持管理	
目標	道路・公園等施設の安全性と機能性を維持するため策定した長寿命化計画に基づき、計画的な改修・更新を進めるとともに、効率的・効果的な維持管理を図ります。
取り組み	道路や公園などの機能や安全性を確保するため、道路・公園等施設の長寿命化計画に基づき、国の補助金を活用しながら更新、改築等を行うとともに、これらの施設の異常や支障箇所の早期発見を目的に各関係機関との連携や部内でも引き続き定期的なパトロールを行うなど、迅速な対応に努めます。 また、安全な交通環境を確保するために、主要道路リフレッシュ事業を継続的に進めるとともに、道路照明灯、橋梁及びトンネルについても予防・保全の観点で点検を行います。
	平成29年度当初予算：49,500千円(道路施設調査点検)、104,000千円(橋梁修繕・補強事業)、213,000千円(主要道路リフレッシュ整備事業)、50,000千円(公園改築等)

<p>9 月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>公園施設の長寿命化については、設計委託事務を発注し、公園施設の更新工 事の発注に向けて取り組んでいる。</p> <p>道路については、6月に市内道路一斉パトロールを実施するとともに、上半期 中に発注することとしていた橋梁修繕・補強事業、主要道路リフレッシュ整 備事業における各工事および業務委託を発注し、着手している。</p> <p>また、道路施設調査点検については、JRと協定を締結している橋梁も含め 32 橋の橋梁と 10 基の標識の点検業務を発注した。</p>
-------------------------------	--

(6) 公園の整備と緑地保全や緑化推進によるみどり豊かな都市環境の創造	
目標	<p>日常生活の中で自然とふれあい、親しめる場を確保するため、公園、緑道など緑地整 備を進めます。また、第 2 次里山保全基本計画やみどりの基本計画に基づき、多くの みどりを育み、人々がみどりとふれあうことのできるまちづくりを進めます。</p>
取り組み	<p>東部公園については、利便性の向上と利用促進を図るため、東部スタジアムに照明灯 を設置します。星ヶ丘公園については自然環境を生かした開設エリアの拡大に向けて 整備を進めます。また、天満川緑道については、安らぎの空間と災害時における避難 路としての機能を確保します。香里ヶ丘中央公園については、香里ヶ丘図書館の建て 替えと連携を図り、まちの魅力を創出するため効果的な公園整備を進めます。</p> <p>里山保全については、第 2 次里山保全基本計画に基づき、市民等による森林ボランテ ィアや企業による環境貢献活動を支援するなど、里山の活用を促進します。</p> <p>緑化推進については、市民や市民団体、事業者など多様な主体が連携して活動する基 盤となるみどりのプラットフォームづくりに取り組みます。</p> <p>平成 29 年度当初予算：556,770 千円（公園整備）、1,515 千円（里山保全）、3,200 千 円（みどりのプラットフォーム設置・運営）</p>

<p>9 月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>東部公園については、照明の設置工事を発注し、契約を締結した。</p> <p>星ヶ丘公園については、用地の買戻しを行い、開設エリア拡大に向けて取り 組んでいる。</p> <p>天満川緑道については、整備工事を発注し、契約を締結した。</p> <p>香里ヶ丘中央公園については、公園の改修工事に向けて、香里ヶ丘図書館の 設計事業者と協議を行い、一体的な整備に向けて取り組みを開始した。</p> <p>里山保全については、里山ボランティア活動団体への情報提供や安全講習会 を企画（実施は 10 月 8 日）した。また、企業による環境貢献活動を本市ホー ムページで紹介した。</p> <p>緑化推進については、みどりのプラットフォームの設置・運営を支援するた めの事業者を選定するため、選定審査会を設置し、プロポーザルの実施公告を 行った。</p>
-------------------------------	---

(1) 公金の適正な管理

目標	公金の収入・支出が、適正に執行されるよう法令等に基づき、厳正な審査を行うと同時に、各課会計担当者の会計実務能力の向上を図ることにより不適切な会計処理を防止し、公金の適正な管理を行います。
取り組み	各課会計担当者に対し、会計実務研修を行い会計事務に対する認識を高めるとともに、機会を捉え会計事務に必要な情報の提供を行うことで、会計実務能力の向上を図ります。

**9 月末の
進捗状況**

【○】

法令等に基づき、支出手続きに対する審査を厳正に行うとともに、審査情報等の共有化を進め適正な公金管理を行っている。また、各課会計担当者に対して、会計実務研修を 11 月に実施予定である。

(2) 公金の安全で効率的な資金運用

目標	資金運用については、社会経済状況の変化に的確に対応し、公金の安全で効率的な運用を図ります。
取り組み	金融情勢が厳しい中、安全性の確保を最優先とし、今後の収支見込みや余裕資金などを的確に把握したうえで、銀行等の定期預金に加え、国債等による債券運用を行うなど、運用益の確保を図ります。

**9 月末の
進捗状況**

【○】

公金の収入・支出の収支状況や今後の収支見込みと、余裕資金などを把握しながら、安全性、流動性、効率性に留意し、銀行等の大口定期預金を中心に資金運用に取り組んでいる。

(1) 水道料金制度のあり方を検討

目標	節水機器の普及や人口減少による有収水量の減少に加え、近年、大口需要者の地下水汲み上げや一世帯当たりの使用水量の減少など、水需要の構造が変化してきており、一層の収益の低下が見込まれます。将来にわたって、水道施設を適切に維持・更新し、健全な経営のもとで持続可能な水道をめざしていくため、その根幹となる水道料金制度のあり方を、平成 28 年度に引き続き検討していきます。
取り組み	市内水道使用者を対象に、水道料金制度や水道使用の考え方等についてアンケート等による調査を実施します。また、平成 28 年度、枚方市上下水道事業経営審議会へ諮問した水道料金制度のあり方について、答申を受けた後、新たな水道料金体系の制度設計に着手します。
	平成 29 年度当初予算：513 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

平成 28 年 9 月、水道料金制度のあり方について諮問した上下水道事業経営審議会において、審議会での基本的な考え方に基づき、各論点について検討を進めている。また、同審議会での審議の参考とするため、平成 29 年 8 月、市民と事業者を対象とした水道に関するアンケートを実施し、集約を行った。平成 29 年度中に答申を受け、新たな水道料金体系の制度設計に着手していく。

(2) 水道・下水道事業の経営戦略策定

目標	水道・下水道事業ともに、人口減少などによる収益の減少が予測される一方、施設の経年劣化による維持補修や更新、耐震化に要する経費は増加となる傾向にあります。こうした中、水道・下水道事業の推進と安定経営の両立を図ることを目的に、中長期的な水道・下水道事業の経営戦略の平成 30 年度策定に向けた取り組みを進めます。
取り組み	経営戦略は、料金収入や一般会計繰入金のあり方など収入面の検討に加えて、特に、支出面における事業費等については、今後策定する施設整備等の各種計画と一体的でなければなりません。そのため、建設改良事業により生じる元利償還金や減価償却費が後年度、収支に与える影響を見極め、その事業費や財源を適切に判断する必要があることから、上下水道事業部と連携を図りながら、経営戦略策定に向けた取り組みを進めます。

9 月末の
進捗状況
【○】

経営戦略の中心となる収支計画策定に向け、上下水道事業部で進めている「上下水道施設整備基本計画」の事業の選定や事業費の積算等に連携して取り組んでいる。

(3) お客さまサービスの向上

目標	平成 29 年 5 月 1 日から水道の開・閉栓届のインターネット受付を開始し、お客さまの利便性の向上を図ります。
取り組み	水道の開・閉栓の届出方法について、これまでの窓口又は電話による受付に加えて、上下水道局ホームページからも手続きができるようにすることで、24 時間 365 日の受付態勢を確保し、お客さまの利便性の向上を図るとともに、無届け転出等による未収金発生抑制につなげます。

9 月末の 進捗状況 【◎】

平成 29 年 5 月 1 日から上下水道局ホームページにおいて、水道の開・閉栓届のインターネット受付を開始した。併せて、FAX 受付も開始し、お客さまの利便性の向上を図った。

【実績】(平成 29 年 9 月末現在)

インターネット受付件数 : 開栓届 240 件 ・ 閉栓届 221 件
FAX 受付件数 : 開栓届 8 件 ・ 閉栓届 8 件

(4) 水洗化の促進

目標	平成 30 年度を目途とした住居系地域の污水整備の概成に向けた取り組みに伴い、公共下水道の供用開始後 3 年以内に義務付けられているトイレの水洗化の促進を図ります。
取り組み	新たに公共下水道の供用を開始した区域の家屋所有者に対して、水洗化工事の手続き、補助・融資制度などをわかりやすく説明した啓発文書により、引き続き水洗化の促進を図ります。 また、水洗化義務期限である 3 年を経過した下水道未接続家屋の所有者に対しては、勧告や戸別訪問など、水洗化促進に向けた取り組みを強化し、水洗化の促進に向けて積極的な働きかけを行います。
	平成 29 年度当初予算 : 6,845 千円

9 月末の 進捗状況 【○】

公共下水道の平成 29 年度供用開始区域へ下水道に接続するよう啓発文書を送付した。また、平成 25 年度供用開始区域の下水道未接続家屋への接続を指導するため、未接続家屋を把握する実態調査を行っている。

(1) 水道管路更新・耐震化事業

目標	水道水を安定的に供給するため、水道管路の更新及び耐震化を効率的かつ効果的に進めるとともに、引き続き上水道施設整備基本計画の平成 30 年度策定に向けて取り組みます。
取り組み	約 10km の水道管路の更新、耐震化、改良事業を進めるとともに、鉛製給水管の取替え及び上水道施設整備基本計画の策定を進めます。 平成 29 年度当初予算：2,686,000 千円

9 月末の
進捗状況
【〇】

水道管路の更新、耐震化、改良事業に係る工事を平成 29 年度の計画に基づき発注した。また、上水道施設整備基本計画の策定については、既存の水道施設の耐震性能や劣化状況を適切に把握するため、資料調査や現場調査等を行い、更新の必要性や優先順位を検討するための施設評価に取り組んでいる。

(2) 中宮浄水場更新事業

目標	持続可能な水道を実現するための重点施策として、新たに建設する浄水場からの給水を平成 37 年度から開始することを目途に中宮浄水場の更新事業を進めます。
取り組み	基本構想により検討した計画諸元に基づき、施設計画や施工方法の検討を行う基本設計に取り組むとともに、更新用地の既存建物の解体工事を完了します。 平成 29 年度当初予算：115,000 千円

9 月末の
進捗状況
【〇】

更新事業検討委員会において、浄水場の規模、処理方式などの検討、及び「枚方市 PPP/PFI 手法活用優先的検討の基本方針」に基づき PPP 手法の導入に向けた検討を進めている。また、更新用地の既存建物の解体工事を当初の予定通り完了した。

(3) 応急給水拠点の整備

目標	大規模災害に備え、市民生活に最低限必要な水を確保し、応急的に給水ができる応急給水拠点の整備を進めます。 完成目標：鷹塚山配水場（平成 32 年度）、津田低区配水場（平成 33 年度）
取り組み	平成 28 年度に着手した鷹塚山配水場更新工事を引き続き進めるとともに、津田低区配水場耐震化工事の実施設計に着手します。 平成 29 年度当初予算：176,000 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	引き続き、鷹塚山配水場更新工事を進めるとともに、津田低区配水場耐震化工事の実施設計に着手した。
----------------------	---

(4) 下水道施設維持管理事業	
目標	浸水被害対策等に備え、下水道施設（水路、管渠）の清掃及び維持補修等を迅速に実施します。
取り組み	下水道施設（水路、管渠）の清掃及び維持補修を実施するとともに、危険性・緊急性の高い老朽化した下水道管を更生し、適正な機能保全を図ります。 平成 29 年度当初予算：1,081,757 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	直営、委託等により下水道施設（水路、管渠）の清掃及び維持補修を行うとともに、老朽化した下水道管の機能を保全するために更生工事の発注を行った。
----------------------	--

(5) 公共下水道汚水整備事業（住居系地域）	
目標	河川や水路、ため池などの水質汚濁防止を図り、安全で良好な生活環境が確保されたまちをめざすため、公共下水道の整備を進めます。
取り組み	住居系地域の汚水整備については、平成 30 年度概成をめざし、昨年度に引き続いて中部及び東部地域を中心に整備を進めるとともに、未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組めます。 平成 29 年度当初予算：1,143,010 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	平成 29 年度の計画に基づく整備予定地区の工事及び平成 30 年度整備予定地区の実施設計委託を発注した。また、整備困難地区（2 地区）について、整備に向けた実施設計委託を発注した。
----------------------	---

(6) 公共下水道汚水整備事業（工場等事業所系地域）	
目標	工場等事業所系の汚水整備については、「行政と事業者」が協力し合うことを基本としながら実情に応じた効率的、効果的な手法で水循環の保全を図ります。
取り組み	枚方七企業団地において未整備である枚方工業団地については、平成 27 年度に着手し、今年度も引き続き、平成 30 年度の完成を目途に整備を進めます。また、枚方東部企業団地については、平成 31 年度からの整備に向けた基本設計に着手します。

平成 29 年度当初予算：97,000 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

枚方工業団地において、今年度予定している約 0.2km について、整備工事を発注した。また、枚方東部企業団地については、基本設計委託の発注を行った。

(7) 下水道施設の長寿命化対策

目標	市民生活の安全確保を図るため、予防保全型を重視した計画的な下水道施設の改築更新を推進し、下水道施設の長寿命化と維持管理に係るライフサイクルコストの最小化を図ります。
取り組み	平成 28 年度に策定した下水道長寿命化計画に基づき、汚水管渠及びポンプ場遠方監視設備の実施設計に取り組みます。
	平成 29 年度当初予算：92,085 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

汚水管渠の長寿命化を目的とした下水道施設実施設計委託を発注した。また、ポンプ場遠方監視設備についても、更新工事実施設計委託の発注を行った。

(8) 公共下水道雨水整備事業

目標	浸水に強い安全で安心して快適に暮らせるまちとするため、雨水管渠やポンプ場の整備を推進し、浸水被害の軽減に取り組みます。
取り組み	浸水対策として、新安居川・溝谷川ポンプ場の排水能力向上に向けた整備や、下水道事業計画に基づいた雨水管渠・水路の整備を推進します。
	平成 29 年度当初予算：1,750,469 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

平成 29 年度の計画に基づき、工事の着手または発注の準備中である。新安居川・溝谷川ポンプ場の継続事業も含め、引き続き事業を推進している。

(9) 下水道浸水被害軽減総合事業	
目標	近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、「下水道浸水被害軽減総合計画」に基づき、雨水貯留施設の整備を進め浸水被害の軽減に取り組めます。
取り組み	下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、蹠排水区では、サダ雨水貯留管整備工事を引き続き進め、楠葉排水区では、楠葉雨水貯留管整備工事に着手します。 平成 29 年度当初予算：1,984,000 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	蹠排水区においては、雨水貯留管の整備工事に取り組んでいる。また、楠葉排水区では、雨水貯留管の整備工事発注に向けて、現在積算中である。
----------------------	--

(1) 市立ひらかた病院改革プランに基づく病院経営の健全化

目標	平成 29 年 3 月に策定した『市立ひらかた病院改革プラン（第 2 次中期経営計画）』において、「収支改善」「経費削減」「収入確保」「経営の安定性」のそれぞれの観点から設定した各目標数値の達成に向けた取り組みを進めることで、持続可能な経営基盤を構築するための経営改善に努めます。
取り組み	<p>① 救急搬送患者の積極的受け入れ 救急医療及び小児二次救急医療は本院の重要な役割であり、救急搬送患者を積極的に受け入れます。</p> <p>② 医師等の人材の確保による収益力の向上 不足する診療科の医師及び専門的資格を持つ看護師、リハビリテーション技師の確保等により、収益力の向上を図ります。</p> <p>③ 病院機能の強化 紹介率・逆紹介率等の要件を満たし、地域医療支援病院の承認取得をめざします。また、医師や地域連携スタッフが積極的に地域の医療機関を訪問するなど、連携強化に取り組むとともに、中核病院と地域の医療機関が患者情報を共有できる「地域医療連携システム」の会員拡大に努め、紹介患者及び紹介率の向上をめざします。</p> <p>④ 情報発信の強化 市民公開講座やオープンセミナーなどの開催とともに、ホームページや広報のほか、様々な媒体による健康や医療に関する情報提供に努めます。</p> <p>⑤ 患者負担額の見直し 緩和ケア病棟において他の病棟の室料差額との整合を図るとともに、紹介状を持たない初診患者にかかる非紹介患者初診料加算金を見直します。</p>

9 月末の
進捗状況
【〇】

- ① 救急搬送応需率の目標を 80% と設定し、積極的に救急搬送患者の受け入れを行っている。
- ② 医師 3 名、看護師 13 名、リハビリテーション技師 1 名の採用を行い、収益力の向上に努めている。
- ③ 地域医療支援病院の承認取得に向けて、医師や地域連携スタッフが地域の医療機関の訪問計画を立て、紹介率・逆紹介率の向上に努めている。
- ④ 市民公開講座やオープンセミナーなどを開催するとともに、ホームページや広報等を活用し、積極的に情報提供に努めている。
- ⑤ 平成 29 年 4 月 1 日より改定した。

(1) 学校園の安全対策

目標	小学校の校門の適正な管理と来校者の受付・確認を行うことにより不審者の侵入を防止するとともに、地域に開かれた学校としての管理運営体制を確保します。
取り組み	監視カメラ及び校門のオートロック装置に連動したワイヤレス子機付きインターホン等の活用に加え、人的配置を行い、児童の安全確保を図ります。
	平成 29 年度当初予算：32,085 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

児童の安全・安心な学習環境の確保を行うために、監視カメラ等機器などの修繕等を必要に応じて行っている。特に、来校者の多い時間帯や児童の下校時間帯等では、機器の活用だけではなく安全監視員などを配置し、人の目による監視を行い、子どもの安全を確保する環境を維持している。

(2) 小中学校教育用 ICT 機器等の整備

目標	子どもたちの主体的・協働的な学びを進め、情報活用能力をさらに育むため、より効果的な教育用 ICT 機器の整備を推進します。
取り組み	小中学校のコンピュータ教室機器等の更新に合わせ、タブレット型パソコンを計画的に整備するとともに、専用サーバ設置や授業支援ソフトウェアなどの整備、教員の授業における ICT 活用を推進するため人的サポート体制も新たに整えます。また、第 1 次避難所に無線でインターネットに接続できる Wi-Fi 環境を整備します。
	平成 29 年度当初予算：150,373 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

平成 29 年 9 月に、小学校 30 校及び先行実施の中学校 2 校に各校 45 台ずつタブレット型パソコンを導入した。これによって、全ての小学校にタブレット型パソコンの整備を行うことができた。業者委託の ICT サポート員が授業のサポートを行う環境作りを行った。また、ICT サポート員を統括する ICT 支援員を 2 名採用し、学校巡回等を随時行っている。1 次避難所における Wi-Fi 環境整備については、現在、契約に向け仕様書等の作成を行っている。

(3) 学校規模等の適正化の推進	
目標	将来の児童生徒数を見通した市立小中学校の規模や配置等の適正化を進めるため、昨年度実施したパブリックコメントを取りまとめ、学校規模等適正化基本方針を改定し、学校統合等に向けた取り組みを進めます。
取り組み	学校規模等適正化基本方針を改定し、高陵小学校と中宮北小学校の統合について保護者等に対する説明会等を実施し、適正化の具体的な取り組みを進めます。

9月末の進捗状況【○】	パブリックコメントを取りまとめし、平成29年6月26日、教育委員会定例会において、学校規模等適正化基本方針を改定した。 当基本方針に基づき、現在、説明会など高陵小と中宮北小の学校統合に向けて取り組みを進めている。
-------------	---

(4) 枚方市学校施設整備計画における長寿命化改修事業	
目標	設計業務：香里小（平成27～平成29年度）・第一中（平成28～平成30年度） 桜丘小（平成28～平成29年度）・津田中（平成29～平成31年度） 樟葉小（平成29～平成31年度） 仮設校舎建設：香里小、桜丘小 枚方市学校施設整備計画（第1期実施計画（後期）平成33～平成38年度）」の策定
取り組み	「枚方市学校施設整備計画（第1期実施計画（前期）平成27～平成32年度）」に基づき、「学校整備ワーキングチーム」での協議・検討を行った上で、「市有建築物保全計画」や「学校トイレ改善事業」などと整合しながら、財政負担の平準化とコスト縮減を図りつつ、計画的により良い教育環境の整備に努めます。また、平成33年度から実施予定の「枚方市学校施設整備計画（第1期実施計画（後期）平成33～平成38年度）」の策定に向け対象校などの選定に係る検討を行い、また、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定に向けての検討を行います。
	平成29年度当初予算：83,480千円

9月末の進捗状況【○】	設計業務：香里小・桜丘小・第一中については設計している。津田中・樟葉小については、設計委託発注の準備をしている。 仮設校舎建設：香里小・桜丘小については、契約締結し建設の準備をしている。 枚方市学校施設整備計画：第1期実施計画（後期）については、策定に向けて現在作業を進めている。
-------------	--

(5) 少人数教室等整備事業	
目標	枚方小学校・津田南小学校において少人数教室等整備工事を実施します。
取り組み	<p>枚方小学校については、平成 30 年度から児童数の増加により教室が不足する過密校になると予測していることから、少人数教室 2 室と多目的教室 1 室、相談室 1 室を整備します。また、併せて管理棟西側の屋根増設等の整備を行い、集中下足室を設置します。</p> <p>また、津田南小学校においても、平成 30 年度から児童数の増加により教室が不足することから、新たに少人数教室 2 教室とコンピュータ教室 1 室を整備します。また、児童の増加に伴い留守家庭児童会室においても保育室が不足することから、上記のコンピュータ教室を増床することで対応します。</p> <p>なお、津田南小学校における教室の整備については、平成 34 年度に児童数が減少することから、リース方式（5 年間）により整備を行います。</p>
	平成 29 年度当初予算：130,000 千円（枚方小学校）、18,062 千円（津田南小学校）

9 月末の 進捗状況 【○】	少人数教室等整備工事：枚方小学校・津田南小学校については、現在、工事を進めている。
----------------------	---

(6) 学校トイレ改善事業	
目標	<p>管理棟：小学校 9 校（山之上小、牧野小、春日小、菅原小、香陽小、殿山第一小、枚方第二小、中宮小、樟葉南小）中学校 2 校（枚方中、中宮中）</p> <p>教室棟：小学校 2 校（菅原小、氷室小）</p> <p>各棟 1 系列のトイレ改造工事を行います。</p>
取り組み	<p>児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、「明るさ、清潔さ、使いやすさ、省エネ対策、コスト対策」を考慮し、学校トイレ改修における基本方針を策定し、ドライ方式による洋式トイレへの全面改造や多目的トイレの設置など、「枚方市学校施設整備計画」や「市有建築物保全計画」との整合性を図りながら、トイレの改造工事を行い、老朽化したトイレの機能の充実を図ります。</p> <p>また、改修工事などの「ハード面」において快適になったトイレを継続して維持するために、使用方法や児童・生徒による日常清掃など「ソフト面」におけるトイレの環境整備について、教職員及び学校校務員を対象とした「学校トイレセミナー」を昨年度開催しましたが、引き続き「ソフト面」での管理・運営方法の周知に努めていきます。</p>
	平成 29 年度当初予算：492,000 千円

<p>9月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>小学校6校（山之上、牧野、春日、殿山第一、中宮、樟葉南）中学校2校（枚方、中宮）の管理棟及び小学校1校（氷室）の教室棟トイレ改造については完成した。</p> <p>小学校2校（菅原、枚方第二）の管理棟トイレ及び小学校1校（菅原）教室棟トイレについては10月中旬完成予定である。</p> <p>香陽小学校管理棟トイレについては下半期工事予定で事業を進めている。</p>
------------------------------	--

(7) 学校給食の充実	
目標	<p>中学校給食：選択制では今年度の目標喫食率40%の確保をめざします。 全員喫食の実現に向けた方向性を取りまとめます。</p> <p>小学校給食：調理場の老朽化対策として、効率的・効果的な整備を進めます。</p>
取り組み	<p>中学校給食について、選択制では目標喫食率確保に向けた取り組みを進めます。全員喫食の実現に向けては、実施手法や財源確保などの検討を進め、今後の方向性をまとめます。</p> <p>また、学校給食を安定的に提供できるよう、第三学校給食共同調理場の老朽化に伴う代替施設として既存の単独調理場6カ所の改築や長寿命化改修等に取り組むとともに、老朽化した香里小学校単独調理場の長寿命化改修を進めます。</p> <p>平成29年度当初予算：28,368千円</p>

<p>9月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>中学校給食については、各中学校やPTAと連携した取り組みや市制施行70周年記念事業「中学校 みんなで和食給食の日」の実施等、目標喫食率確保に向けた取り組みを進めている。</p> <p>全員喫食の実現に向けては、民間調理事業者の意向調査を行い、参入意向のあった事業者を対象に、聞き取り及び現地調査を実施し、調査・研究を行った。</p> <p>第三学校給食共同調理場老朽化対策事業の対象の6カ所の単独調理場の改築・長寿命化改修及び香里小学校単独調理場の長寿命化改修については、いずれも基本・実施設計を進めている。</p>
------------------------------	---

(1) 学力の向上 (小中一貫教育推進事業)

目標	<p>子どもたちの確かな学力の向上に向けた取り組みを推進します。</p> <p>学力状況を把握・分析し指導方法等を明確化し、公表します。</p> <p>子どもたちの体力・運動能力の向上に向けた取り組みを推進します。</p>
取り組み	<p>【学力の向上】</p> <p>全中学校区に「小中一貫・学力向上推進コーディネーター」を核とした組織体制を確立し、「授業改善」及び「家庭学習の定着」に向けた取り組みの充実を図ります。</p> <p>「Hirakata 授業スタンダード」に基づいた授業改善や教員の授業力向上に向けた研修の充実を図ります。</p> <p>全国学力・学習状況調査結果を 1 つの指標として分析・活用した学力向上プランを作成し、児童・生徒の学力向上に取り組むとともに、全小中学校において学年会や教科会、学力向上委員会を定期的に開催することで授業研究や教材・教具等の充実を図り、教職員の指導力向上と授業改善に取り組めます。</p> <p>家庭学習の定着に向けた取り組みとして、「自主学習ノートのすすめ」を作成し、モデル校において試行的に活用します。</p> <p>【学力状況を把握・分析し指導方法等を明確化・公表】</p> <p>全国学力・学習状況調査の結果をもとに全国平均との比較・分析を行うなど、学力状況をよりわかりやすく公表するとともに、分析結果等をもとに、より効果的な施策につなげていきます。</p> <p>【体力の向上】</p> <p>児童・生徒体力・運動能力調査について、抽出対象校以外、また対象学年以外でも積極的に実施します。</p> <p>夏休みの「開放プール」について、枚方市水泳進級表等を活用しながら、児童一人一人が目標を持って取り組める「水泳教室」として実施します。</p> <p>平成 29 年度当初予算：81,668 千円</p>

9 月末の
進捗状況
【〇】

【学力の向上】

- ・「小中一貫・学力向上推進担当者研修会」を実施し、「Hirakata 授業スタンダード」に基づいた授業改善及び家庭学習の定着に向けた研修を実施した。
- ・各小中学校において、学力向上プランを作成し、学力向上に向けた取り組みを計画的に推進するとともに、児童・生徒にアンケートを実施し、取り組みの進捗状況の把握を行っている。また、学力向上委員会を中心とした、小学校における学年会、中学校における教科会を定期的に開催することで、組織的な取り組みを推進し、教職員の指導力向上と授業改善を図っている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の定着に向けた取り組みとして、モデル校において「自主学習ノート」の効果的な活用方法について実践研究を進めている。 【学力状況を把握・分析し指導方法等を明確化・公表】 ・全国学力・学習状況調査の結果をもとに、全国平均との比較や分析等を行った学力の状況について、10月上旬にホームページで公表を予定している。 【体力の向上】 ・体力向上研究モデル校において、児童・生徒体力・運動能力調査を対象学年以外に拡大して実施した。今後、調査結果をもとに分析を進める。 ・夏休み期間中に、枚方市水泳進級表等を活用した「水泳教室」を小学校44校（1校は工事により実施不可）において実施した。
--	--

(2) 指導体制の充実（小中一貫教育推進事業）	
目標	義務教育9年間を見通して、児童・生徒の発達段階に応じた指導体制の充実を図ります。
取り組み	<p>小学1年生から4年生まで、支援学級児童数を含む1学級35人以下とする本市独自の少人数学級編制を実施します。</p> <p>小学5・6年生は、各中学校区の状況に応じて外国語活動や体育、理科を選択する一部教科担任制の実施や習熟度別指導、ティーム・ティーチング等の少人数指導を行うことにより、子どもの理解度に応じた学習指導を行います。</p> <p>中学校は、習熟度別指導、ティーム・ティーチング等の少人数指導を行うことにより、子どもの理解度に応じた学習指導を行います。</p> <p>平成29年度当初予算：263,861千円</p>

9月末の進捗状況【〇】	<ul style="list-style-type: none"> ・小学1年生から4年生まで、支援学級児童数を含む1学級35人以下とする本市独自の少人数学級編制を実施している。 ・小学5・6年生は、外国語活動又は、体育、理科について一部教科担任制を実施している。また、全小中学校において、子どもの理解度に応じた学習指導を行うため、習熟度別指導、少人数指導を実施している。
-------------	---

(3) 自学自習力の向上（放課後自習教室事業）

目標	日々の学びの連続性の確立と家庭学習の充実に取り組みます。 より多くの児童・生徒の学習機会の充実を図ります。
取り組み	全小中学校に配備しているパソコンの自学自習力支援システムを、朝学習、授業、放課後学習、家庭学習において活用し、児童・生徒の自ら学ぼうとする力の育成と基礎・基本の定着に取り組みます。 各小中学校の放課後自習教室の開室日数を 70 日以上から 80 日以上に拡充します。 平成 29 年度当初予算：59,144 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	全小中学校において、朝学習、授業、放課後学習、家庭学習において自学自習力支援システムを活用し、児童・生徒の自ら学ぼうとする力の育成と基礎・基本の定着に取り組んでいる。 放課後自習教室については、学校の実情に応じて、週 2 日～4 日程度、開室している。
----------------------	---

(4) 英語教育の推進

目標	子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、小中学校間で連携しながら英語教育を推進します。
取り組み	全中学校に各校 1 名の外国人英語教育指導助手（NET）を、全小学校に英語が堪能な日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、学校の取り組みを支援します。 「読む」「書く」「聞く」「話す」力をバランスよく育む授業の実践と、児童・生徒の英語学習への意欲を高める取り組みを進めます。 平成 29 年度当初予算：132,235 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、全中学校に各校 1 名の外国人英語教育指導助手（NET）を、全小学校に日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、「読む」「書く」「聞く」「話す」力をバランスよく育む授業を実施している。
----------------------	---

(5) 生徒指導の充実	
目標	学校・家庭・地域・関係機関が連携し、個に応じたきめ細かな指導の充実に努め、いじめ問題・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応を行います。
取り組み	<p>社会福祉士等の専門的な知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを配置し、状況に応じて、関係機関との連携を図りながら、子どもの学校生活の充実や家庭の教育力向上を支援します。</p> <p>総合電話窓口「子どもの笑顔を守るコール」を設置し、児童・生徒・保護者等からの電話相談に対応するとともに、必要に応じて教育相談員が継続的な電話または面談による教育相談を実施します。</p> <p>複数の中学校に市独自で教員等を配置し、生徒指導体制の強化を図り、いじめ等の未然防止・早期発見に繋げていきます。</p> <p>「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」等において、いじめ防止等に関する関係機関との連携の強化を図り、いじめ問題への対策に向けた協議を行います。</p> <p>人権課題に関する正しい知識の習得及び課題解決に取り組むとともに、いじめ等による人権侵害事象の未然防止のため、高い人権意識と自他を尊重し、認め合う実践力を持った主体性のある人間の育成をめざした人権教育の推進に努めます。</p>
	平成 29 年度当初予算：118,041 千円

9 月末の 進捗状況 【〇】	<p>スクールソーシャルワーカー等の活用により課題のある児童・生徒及び保護者の支援に取り組んでいる。また、いじめ問題については、「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、協議を行うとともに、「枚方市学校いじめ対策審議会」も開催し、調査審議を行っている。さらに、各学校における人権教育の取り組みを把握し、人権侵害事象の未然防止に努めている。</p>
----------------------	--

(6) 支援教育の充実	
目標	<p>インクルーシブ教育システム(※)の理念を踏まえ、すべての子どもが「ともに学び、ともに育つ」という観点からの学校づくり・集団づくりの充実を図り、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた支援を行います。</p> <p>※インクルーシブ教育システム…障害のある者と障害のない者が、同じ場で、可能な限りともに学ぶ仕組みのこと。</p>
取り組み	<p>支援教育に関する専門家等を学校園へ派遣し、教職員への指導・助言等を行います。</p> <p>学校看護師・介助員の配置や支援教育に係る環境の整備等を行います。</p> <p>非常勤講師を配置し、支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援します。</p> <p>情操教育の観点から馬とふれあい、豊かな心の育成をめざし、子どもの自立のための</p>

支援を行います。 小学校 2 校の支援学級にタブレット端末を導入し、ICT の効果的な活用について研究 します。 支援学級を新設する際に、設備整備のため備品等を購入し、また、障害の状況に応じ てレバーで操作できるリコーダー、拡大教科書及び階段昇降車等を貸与する等、教育 環境整備を行います。
平成 29 年度当初予算：184,531 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	すべての子どもが「ともに学び、ともに育つ」という観点から、支援教育に 関する専門家の派遣、学校看護師・介助員の配置、支援教育コーディネータ ーを支援するための非常勤講師の配置、備品の購入や貸与を行い、支援教育 に係る環境整備を進めている。
----------------------	--

(7) 教職員研修の充実	
目標	「経験の浅い教職員及びミドルリーダーの育成」「学力向上に向けた授業づくり・授業 改善の推進」「授業研究・研修への支援の充実」を図ります。
取り組み	授業研究・研修への支援を充実し、教員の授業力向上と児童・生徒の学力向上を図り ます。 学習指導要領改訂を見据え、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「Hirakata 授業スタンダード」に基づいた授業改善や教員の授業力向上に向けた研修の充実を図 ります。具体的には、本市独自の教職員研修計画に基づき、教職員の経験年数や職務 に応じて行う「基本研修」及び教育課題や教科等の専門性を高める「専門研修」を実 施します。 高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成する「授業の達人養成講座」をさら に充実させ、教職員の授業力、指導力の向上を図ります。 指導主事、教育推進プランナーが学校園を訪問し、経験の浅い教職員への指導助言や 授業研究・研修への継続的な指導・支援を行います。
	平成 29 年度当初予算：8,702 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	教職員の経験・職務に応じた「基本研修」を 103 回、教育課題や教科等の専 門性を高める「専門研修」を 54 回、合計 157 回の教職員研修を実施。専門研 修のうち「授業の達人養成講座」については、5 回実施。指導主事及び教育推 進プランナーによる学校園訪問を 561 回実施。(内訳、経験の浅い教職員への 指導助言 271 回、授業改善、授業研究等への指導・支援等 290 回)
----------------------	---

(1) 社会教育の推進

目標	生涯学習の一助となる、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術を提供し、学習する主体の形成を図ります。
取り組み	子育てや親への支援を行う「家庭教育支援事業」、暮らしに役立つ社会制度等についての情報や基礎的な知識を学ぶ「社会教育基礎講座」、人権を擁護し、尊重することの大切さについて、市民の気づきを促す「社会教育人権啓発事業」等を開催します。実施にあたっては、必要な人に必要な情報が的確に届くよう、効果的な情報発信に努めます。
平成 29 年度当初予算：512 千円	

9 月末の
進捗状況
【○】

平成 29 年度は『地域のなかの自分』を共通テーマに設定し、家庭教育支援事業として「貧困とひとりぼっちのないまち～子どもたちとつくる～」の開催や、父親の子育て参加促進のため「親子でつくってあそぼう！竹水鉄砲作りに挑戦！」を開催した。10 月には、社会教育基礎講座「巨大災害に備えるために～地域でわたしたちができること～」や家庭教育支援事業「自分の怒りと上手に向き合う方法」を開催する予定であり、その他の講座についても、順次開催していく予定である。

(2) 児童の放課後施策の推進

目標	留守家庭児童会室事業について、平成 29 年度からの対象学年の段階的拡大にあたり、引き続き、入室児童数の増加に対応するために必要な施設整備を行います。また、児童の放課後環境の整備を図るため、全児童を対象とする放課後対策の具体化に向けた検討を進めます。
取り組み	桜丘留守家庭児童会室の建替え及び磯島留守家庭児童会室の増築(老朽化対策を含む)を実施します。 また、全児童対象の放課後対策については、国の「放課後子ども総合プラン」を踏まえ、さまざまな立場からの意見を聴取し、各学校への具体的な導入方法を検討します。
平成 29 年度当初予算：208,500 千円	

9 月末の
進捗状況
【○】

桜丘留守家庭児童会室の建替え及び磯島留守家庭児童会室の増築(老朽化対策を含む)の契約を完了し、桜丘留守家庭児童会室は 10 月 23 日から、磯島留守家庭児童会室は 10 月 10 日から工事を着工し、翌年 3 月 15 日に完了予定である。

	<p>児童の放課後対策については、さまざまな立場からの意見を聴取するため、平成 29 年 9 月に教育委員会の附属機関として児童の放課後対策審議会（委員 11 名）を設置し、平成 29 年 9 月 27 日に第 1 回の会議を開催し「児童の放課後対策に関する基本計画」の策定について諮問した。今後は、留守家庭児童会室を利用している児童及びその保護者を対象に実態及びニーズ調査を行い（10 月予定）、昨年度実施した児童の放課後の過ごし方に関する調査結果や、審議会での調査審議を踏まえ、平成 30 年度の早い時期での「放課後子ども教室」モデル事業実施に向け、検討を進めているところである。</p>
--	--

(3) 歴史文化遺産の保存・活用（特別史跡百済寺跡再整備事業）	
目標	市内の貴重な歴史文化遺産を活用し、まちへの愛着を育むため、整備後 40 年以上が経過している「特別史跡百済寺跡」について、抜本的な遺構保存工事と合わせ、憩いの場となる史跡公園としての再整備を進めます。
取り組み	引き続き、再整備工事を行い、伽藍を構成する主要な建物である堂塔院の東塔・中門等の基壇の整備を実施します。寺域外郭の東南部分の築地塀を立体復元するための設計のほか、古代寺院の伽藍をイメージしやすいように推定復元図を作製し、百済寺への理解を深めます。
	平成 29 年度当初予算：171,012 千円

9 月末の 進捗状況 【△】	堂塔院の東塔部分の遺構面の確認を含めた発掘調査を 9 月から 10 月末にかけて実施する。その後、11 月から東塔・中門等の基壇の整備を実施する。築地塀の設計は、小屋組部分の検討に時間を要し遅れている。
----------------------	---

(4) スポーツ施策の推進	
目標	平成 29 年 3 月に策定した「枚方市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツと関わる各関係部署・団体等と協働体制を確立し、各種スポーツ活動の推進と施設の利用環境の整備に向けた取り組みを進めます。
取り組み	「枚方市スポーツ推進計画」に基づき、各所管部署での取り組み施策とそれに基づく事業を実施します。また、本計画で実施する事業を継続的に改善していくため、PDCA サイクルの手法により、事業内容の点検・評価・改善を図り、その内容を枚方市スポーツ推進審議会において点検・評価を行い、助言を受けながら進行管理を行います。
	平成 29 年度当初予算：477 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	各所管部署で平成 28 年度の事業実績の点検・評価を行った。その内容を、平成 29 年 10 月 23 日に開催予定の枚方市スポーツ推進審議会で点検・評価を行う。
----------------------	---

(5) 総合スポーツセンター駐車場の拡張整備	
目標	総合スポーツセンター駐車場拡張事業用地 6866.68 m ² のうち、平成 28 年度に取得した 3441.34 m ² の残地 3425.34 m ² を平成 29 年度に取得し、第 2 駐車場として整備します。
取り 組み	総合スポーツセンター駐車場拡張事業用地について、平成 29 年度に残地の買戻しを行い、整備工事を行います。 平成 29 年度当初予算：731,289 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	平成 29 年 7 月 28 日付けで、駐車場拡張事業用地として残地 3425.344 m ² を取得した。平成 29 年 9 月 25 日付けで工事契約を締結し、11 月より整備工事を実施予定である。
----------------------	--

(6) 香里ヶ丘図書館の建替え事業	
目標	香里ヶ丘地域においては、地域の活性化を図るため、隣接する香里ヶ丘中央公園の再整備とあわせて、老朽化した香里ヶ丘図書館の建替えを推進します。図書館の建替えにあたっては、民間ノウハウをより効果的に生かせるよう、プロポーザル方式により設計事業者を選定します。
取り 組み	香里ヶ丘図書館建替工事設計業務については、平成 29 年度中に公募型プロポーザル方式による選定手続きを進めます。 平成 29 年度当初予算：16,702 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	香里ヶ丘地区の活性化に向けた取り組みの一環である香里ヶ丘図書館の建替え事業について、設計事業者をプロポーザル方式にて選定し、図書館設計に着手した。
----------------------	---

(7) 学校図書館支援事業	
目標	読書好きの子どもを育み、児童・生徒の学力向上につながるよう、小中学校において学校図書館と市立図書館とのコンピューターネットワークを利用した蔵書の有効活用を進めます。
取り組み	小中学校に対して、団体貸出及び配本事業の充実、学校訪問おはなし会等の実施、学校図書館への学校司書の派遣を行い、学校図書館支援を強化します。 学校図書館の蔵書のデータベース化・オンライン化により、市立図書館と連携させることで、学校図書館の蔵書や市立図書館の蔵書をより有効に活用する取り組みを進めます。
平成 29 年度当初予算：4,912 千円	

9 月末の 進捗状況 【○】	平成 29 年 4 月から学校図書館システムの運用を開始した。また、「子どもに本を届ける基金」をもとに購入した児童図書を 9 月に 45 小学校へ届けた。
----------------------	---

(8) 生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度導入	
目標	楠葉・御殿山・津田・菅原の 4 カ所の生涯学習市民センターと図書館の複合施設についても、平成 30 年度からの導入に向け取り組みを進めます。
取り組み	平成 28 年度からのさだ・牧野の先行 2 施設における導入状況を踏まえ、モニタリングなどによる検証のもと、平成 30 年度からの 6 施設への導入に向けて選定・指定等の手続を進めます。
平成 29 年度当初予算：90,432 千円	

9 月末の 進捗状況 【○】	平成 30 年度からの、さだ・牧野を含む、生涯学習市民センターと図書館の複合 6 施設への指定管理者制度導入に向けて、第 1 回指定管理者選定委員会を開催するとともに、事業者公募を行った。
----------------------	--

(1) 任期満了選挙の適正かつ円滑な管理執行

目標	津田財産区議会議員選挙（平成 29 年 12 月 4 日任期満了）について、公正、適正かつ効率的な選挙事務を進めていきます。
取り組み	津田財産区議会議員選挙について、財産区議会を担当する財産管理課と連携しながら、公正、適正かつ効率的な選挙事務の管理執行に努めます。
	平成 29 年度当初予算：5,368 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

平成 29 年 11 月 19 日執行予定の津田財産区議会議員選挙について、関係課と連携しながら、選挙事務を進めていく。

(2) 選挙啓発事業の推進

目標	選挙権年齢の引き下げに伴い、中学校・高校等で出前授業等を実施し、若年層の投票率向上に向けた取り組みを進めます。
取り組み	選挙権年齢が引き下げられたことで、学校での主権者教育の重要性に鑑み、中学校や高校等と連携を図りながら、これから有権者となる中学・高校生を対象に出前授業等を実施し、政治や選挙への参加の重要性を PR するなど、若年層の投票率向上に向けた取り組みを進めていきます。
	平成 29 年度当初予算：886 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

小学校 1 校、中学校 3 校で出前授業を行うため、学校と連携を図りながら、取り組みを進めていく。

(1) 各種監査の円滑な実施

目標	<p>定期監査及び随時監査に際し、事務局は書類の審査及び現地調査等を通じて、対象部署の事務の執行状況を監査委員の協議の場へ報告します。</p> <p>監査委員は、対象部署への聴取の後、指摘事項や意見要望事項等の監査結果の講評を経て市議会、市長等に提出、公表を行います。</p> <p>事務局は、監査委員によるこれらの監査が円滑に実施できるよう努めます。</p>
取り組み	<p>年間監査計画に基づく定期監査として、平成29年度は6つの部及び教育機関について、財務に関する事務の執行状況等の監査を行います。</p> <p>また、随時監査は、財政援助団体等監査、同監査に伴う所管部署に対する監査及び工事監査を行います。</p> <p>住民監査請求が提出された場合は、監査期間の60日以内に監査結果を出せるよう、事務局として適切に対応します。</p>

9月末の
進捗状況
【〇】

定期監査は総務部と都市整備部に対して4月から実施し、6月29日に監査委員による講評が行われた。現在、社会教育部並びに上下水道事業部及び教育機関の監査を実施中である。

随時監査のうち、工事監査は「市立枚方保育所建設工事」について6月から実施し、9月28日に監査委員による講評が行われた。財政援助団体等監査は、「公益財団法人 枚方市文化国際財団」が選定された。また、同監査に伴う所管部署に対する監査として産業文化部 文化生涯学習室が選定され、いずれも11月から来年2月までの間で実施予定である。

住民監査請求については、却下が1件、棄却が1件である。

(2) 例月現金出納検査、決算審査及び財政健全化法に基づく審査

目標	<p>監査委員が毎月行う各会計の現金出納検査に際し、事務局として事前に各会計の書類審査を実施し、その結果を検査当日、監査委員に報告します。</p> <p>決算審査については、市長から提出された前年度の決算書等について、事務局として提出書類や数値の審査等を行い、監査委員の協議の場へ報告します。監査委員は、関係部局への聴取を行うとともに、会計ごとに意見をまとめ、決算審査意見書として市長へ提出します。</p> <p>事務局は、監査委員によるこれらの検査及び審査が円滑に実施できるよう努めます。</p>
取り組み	<p>年間監査計画に基づき、例月現金出納検査については毎月1回、決算審査等については6月から8月の間に実施します。</p>

9月末の
進捗状況
【〇】

例月現金出納検査については毎月1回実施した。

決算審査等は、企業会計については6月29日から、一般会計・特別会計については7月13日からそれぞれ実施し、8月29日に市長に決算審査意見書を提出した。併せて、健全化判断比率等審査意見書も提出した。津田、菅原及び氷室の各財産区会計については現在審査中である。

(1) 新・農業委員会制度での組織・活動体制の整備

目標	「農業委員会等に関する法律」の改正により、平成 29 年 7 月には、主に合議体としての意思決定を行う「農業委員」と、担当区域における農地等の利用の最適化の推進を行う「農地利用最適化推進委員」で組織される新たな農業委員会体制に移行します。新体制への円滑かつ着実な移行を図ります。
取り組み	改正法を踏まえ、農業委員会の新体制における農業委員及び農地利用最適化推進委員の役割を検証し、「農業委員会会議規則」、「農業委員会常任委員会の事務の取扱いに関する細則」等を改正するとともに、円滑な農業委員会の運営に努めます。また、新任委員に対する農業委員会制度及び業務等についての研修を実施します。

9 月末の
進捗状況
【○】

平成 29 年 7 月 20 日に新たな農業委員会体制へ移行し、総会・協議会（各 3 回）・常任委員会（4 回）の開催や農地パトロール等を実施した。また、農業委員会研修会を 11 月に開催する予定である。

(2) 農地銀行による農地貸借の結び付けの強化

目標	担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入を促進するため、引き続き、農地銀行（農地の貸借等を進める組織）による農地貸借の結び付けの強化に向けた取り組みを進めます。
取り組み	農地銀行に係る農地貸借希望台帳の登載件数を増やし、農地の貸し借りの希望者が閲覧することで、双方の結び付けにつなげます。また、農業委員会発行の「農委だより」への記事掲載等により農地銀行制度の啓発・周知に努めます。

9 月末の
進捗状況
【○】

平成 29 年 9 月発行の「農委だより」の情報提供等により、8 月末時点で新規設定 13,244 m²、再設定 16,548 m²の利用権設定を行った。また、今後も「農委だより」等を活用し、農地銀行制度の啓発・周知を図る。

(3) 農地適正管理システムの精度向上

目標	農地台帳の法定化とともに、農地台帳及び農地に関する地図について、インターネットの利用等により公表が義務化されており、農地の農業上の利用の増進及び農地の利用の調整に資するほか、法令業務や農地利用の最適化の推進のため、農地適正管理システムの精度向上を図ります。
----	--

取り 組み	農地の貸借料情報などの農地情報の調査を行い、農地台帳管理システム（農業者、所在、地番、面積等の農地情報のデータベースを管理）の精度向上を図るとともに、本格稼動した全国一元的な新たな農地台帳・地図システムである農地情報公開システム（フェーズ2）の把握や活用方法を検討します。
----------	--

9 月末の 進捗状況 【○】	農地の権利移動や転用の許可案件等の入力を行い、また、年内には農地の貸借料情報などの農地調査を行い、農地台帳管理システムの精度向上を図る。また、農地情報公開システム（フェーズ2）については、引き続き、システムの把握や活用方法を検討している。
----------------------	---

(1) 本会議、委員会等の適切な運営

目標	本会議、常任・特別委員会、委員協議会その他の会議の運営が公正・円滑・活発に行われるよう、市議会事務局として、きめ細かな調整、準備に取り組むことにより、そのサポートに努めます。
取り組み	<p>通年議会を導入している本会議の運営をはじめ、所管事務調査に取り組む常任委員会の活動等に対するサポートを的確に行います。</p> <p>また、議会改革調査特別委員会で行った議会基本条例の運用状況の検証結果を踏まえ、議員研修の場において専門的知見を活用し、研修内容を充実させることにより議会全体の機能強化を図ります。あわせて、研修の実施までの手続きについても、一定のルールに基づいた円滑な運用を図ります。</p>
	平成 29 年度当初予算：807 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

本会議では、5 月開会議会、6 月定例会議会、9 月定例会議会（最終日を除く）が開催された。また、総務・文教常任委員会では、所管事務調査の一環として、委員協議会形式による勉強会が開催された（8 月）。その他の会議も含め、的確なサポートを行い、円滑な運営ができた。

また、議員研修の実施までの手続きにおいても、会派から案件を募るなど一定のルール化を行った。

(2) 多様な方法による議会活動に関する情報発信の充実

目標	議会活動に関する情報発信については、現在も多様な方法で行っていることから、これを継続するとともに、新たに実施する一般質問・代表質問等のインターネットによる生中継の円滑な導入を図るなど、引き続き市民ニーズを踏まえた情報発信に努めます。
取り組み	<p>次のような情報発信方法を継続して行います。また、より効果的に情報発信を行うことができる方策を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○枚方市議会報の発行（全戸配布。ホームページにも掲載） ○点字議会報の発行（希望者に送付） ○声の議会報の発行（希望者に送付。ホームページにも掲載） ○一般質問・代表質問の録画映像配信（ユーチューブの活用） ○会議録の発行（市立図書館等に配架） ○インターネット上における会議録検索システムの運用 ○ホームページによる情報発信（会議日程、審議結果等）など
	平成 29 年度当初予算：16,506 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	枚方市議会報を 3 回発行するとともに、その都度、同内容の点字・声の議会報を発行した（5 月、7 月、8 月）。また、一般質問をはじめ本会議のインターネットによる生中継を 9 月定例会議会から開始し、市民ニーズを踏まえた情報発信に努めた。
----------------------	---

(3) 災害発生時における様々な通信手段の確保と緊急連絡訓練等の実施	
目標	地震等の災害が発生した際、枚方市災害対策本部と連携し、災害対策活動を支援するとともに、臨時的に開催する「市議会災害対策連絡会議」や「緊急議会」において迅速かつ円滑に対応できるよう、災害訓練の実施や想定議案の調査・研究に努め、支援活動体制の強化を図ります。
取り組み	大規模災害が発生した際の通信機器がつながりにくい状況に備えるため、災害発生時にも使用可能な「災害伝言ダイヤル」やインターネットを利用した「災害用伝言板」を用いた災害訓練を定期的実施するとともに、長期的な災害等にも対応するため、事務局職員の災害発生時の体制を改めて整備します。 また、通年議会の実施により、議会の判断で「緊急議会」を開催することが可能であるため、災害時に迅速かつ円滑な対策を検討できるよう、災害時の「緊急議会」の運営について、調査・研究を進めます。

9 月末の 進捗状況 【○】	インターネットを利用した「災害伝言板」を用いた災害訓練を年度内に実施する予定としており、災害発生時に迅速に支援活動が行えるよう体制強化を図るとともに、長期的な災害等にも対応するため、事務局職員の災害発生時の体制の整備を進める。
----------------------	---

(4) 政務活動費の適正な運用	
目標	市民の負託にこたえるため、政務活動費のより一層の適正な執行と、さらなる使途の透明性を図ります。
取り組み	情報化の進展や流通形態の変化、また、市民ニーズの多様化など、様々な社会情勢の変化に対応するため、本市議会で作成した「政務活動費マニュアル」も活用し、今後も政務活動費を適正に運用するとともに、政務活動費に対する市民の関心が高まる中、さらなる使途の透明性を図ります。

9 月末の 進捗状況 【○】	平成 28 年度に引き続き、政務活動費の収支概要及び議員単位の収支報告書を市議会ホームページに掲載した（7 月）。今後も政務活動費マニュアルを活用し、さらなる政務活動費の適正な執行及び使途の透明性を図る。
----------------------	--

(5) 他の市議会との広域的な連携	
目標	他の市議会と広域的な連携を図り、様々な情報を共有することにより、そのノウハウを本市議会の運営に活用します。
取り組み	全国・中核市・近畿・大阪府・河北の各市議会議長会などの各種団体が実施する事業等へ積極的に参加するとともに、国の動向や他市の事例に注視し、適正な情報把握に努め、本市議会の運営に活用します。

9月末の 進捗状況 【○】	河北7市の市議会事務局で構成される第40回河北事務担当者会議が四條畷市で開催され（7月）、他市事例などの情報収集や共通的な諸問題の協議を行った。今後も引き続き適正な情報把握に努め、本市議会の運営に活用する。
------------------------------	---